

令和6年度

社会福祉法人むつみ会

事業報告書

事業期間

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

目次

令和6年度 社会福祉法人むつみ会事業報告	3
1. 社会福祉法人むつみ会 法人本部事業 令和6年度 事業報告.....	4
1. 役員会等審議事項について.....	4
2. 職員功労者の表彰について	5
3. 事業活動に係る決算概要	6
2. 第一種社会福祉事業 母子生活支援施設 むつみ荘 令和6年度 事業報告.....	7
1. 利用者支援:母親.....	8
2. 利用者支援:小学生以上の児童	9
3. 利用者支援:幼児	11
4. 利用者支援:心理	12
5. 利用者支援:分園(サテライト)型母子生活支援施設.....	13
6. 利用者支援:アフターケア	14
7. 利用者状況.....	15
8. 施設行事.....	18
9. 職員研修・各種委員会	21
10. 視察関係.....	23
11. 外部への講師派遣	23
12. 防災訓練・防犯訓練	24
13. 保健衛生環境整備.....	25
14. 寄附及び招待事業受入	26
15. 母親懇談会.....	30
16. 実習受入状況	31
17. 利用問合せ状況	33
18. 地域交流及び協力実績報告.....	34
19. 事故報告・苦情解決	35
3. 第二種社会福祉事業 むつみ荘児童一時預かり事業 (一時預かり保育室たんぽぽルーム) 令和6年度 事業報告	36
4. 第二種社会福祉事業 子育て短期支援事業 令和6年度 事業報告	38
1. トワイライトステイ事業	38
2. ショートステイ事業.....	39
5. 第二種社会福祉事業 よつば保育園 令和6年度 事業報告	41
1. 総括.....	41
2. 振り返り.....	42
3. 年間利用児数(各月 1 日現在在籍数)	43
4. 職種別職員数(年度末日現在).....	44
5. 組織体制等.....	44
6. 勤務体制、時間等	44

7. 職員研修実施内容.....	44
8. 年間行事実施内容.....	44
9. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容.....	44
10. 設備、備品、遊具等の充実内容.....	44
11. 建物等修理・修繕実施内容.....	44
12. その他.....	45
6. 第二種社会福祉事業 病児保育室さらら 令和6年度 事業報告.....	47
1. 総括.....	47
7. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園 令和6年度 事業報告.....	48
1. 総括.....	48
2. 年間利用児数(各月1日現在在籍数).....	49
3. 職種別職員数(各月1日現在在籍数).....	49
4. 組織体制等(年度末日現在).....	49
5. 勤務体制、時間等.....	49
6. 職員研修実施内容.....	49
7. 年間行事実施内容.....	49
8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容.....	49
9. 実習生受け入れ状況.....	50
10. 設備、備品、遊具等の充実内容.....	50
11. 建物等修理・修繕実施内容.....	50
12. 苦情・要望等報告.....	50
8. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園一時保育事業 令和6年度 事業報告.....	52
1. 総括.....	52
2. 利用児数実績.....	53
3. 利用事由及び時間数.....	53
9. 第二種社会福祉事業 むつみ学童クラブ第一・第二 令和6年度 事業報告.....	54
1. 運営目標と結果.....	55
2. 利用実績.....	56
10. 公益事業 むつみ学習支援センター 令和6年度 事業報告.....	61
1. 運営目標と結果.....	62
2. 利用実績.....	63
11. 公益事業 生計困難者に対する相談支援事業(彩の国あんしんセーフティネット事業) 令和6年度 事業報告.....	65
12. 公益事業 食事補助クーポン券配布事業 令和6年度 事業報告.....	66

令和6年度 社会福祉法人むつみ会事業報告

超少子高齢化が進む中、法人を取り巻く社会環境や福祉情勢も大きく変化をし、また、社会経済も物価の高騰で、経済格差が拡大を続けてしまうのではと心配している。

これらの社会構造の変化が進むにつれて、家庭や地域との関係の希薄化したことによる社会的孤立や生活困窮への対応、虐待・DVの防止や権利擁護などが重要な課題となっている。

法人の目標である「子育て支援・家族支援」を念頭に置きながら、上記の事業の他にも彩の国あんしんセーフティーネット事業・埼玉県災害派遣チームへの参画を通し、地域に開かれ、また貢献できる施設づくりを目指しつつ、関係機関とのネットワークの強化さらなる向上に努めてまいりました。

しかしまだ弱い立場にあるひとり親家庭や経済的困窮世帯および若年子育て家庭には厳しい状況にあることに変わりがない中、県・市及び関係機関のご協力を賜りながら、今年度についても職員一体となり鋭意努力を重ねてまいりました。今後も現状に甘えることなく、効率的・効果的な経営を実践して更なる発展を目指し努力を積み重ねてまいります。

尚、令和6年度の事業につきましては、別紙のとおりでございます。

令和 7年 4月

社会福祉法人むつみ会

理事長 永塚 博之

1. 社会福祉法人むつみ会 法人本部事業

令和6年度 事業報告

1. 役員会等審議事項について

開催年月日	審議事項等	出席者数
R6 6 4	令和6年度 内部監査 監査事項 令和5年度むつみ会各会計について	監事(2)
6 11	令和6年度 第1回理事会 認定事項 1. 令和5年度各事業所の事業報告について 2. 令和5年度各事業所収支決算書について 議案事項 1. 社会福祉法人むつみ会職員給与規程の一部改正について(案) 2. 社会福祉法人むつみ会職員給与規程の施行に関する事項の一部改定について(案) 3. 社会福祉法人むつみ会職員旅費規程の一部改定について(案) 4. 社会福祉法人むつみ会評議員選任解任委員任期満了に伴う改選について(案) 5. 令和6年度社会福祉法人むつみ会評議員会の開催について(案)	理事(6) 監事(2)
6 26	令和6年度 第1回 評議員委員会 認定事項 1. 令和5年度各事業所の事業報告について 2. 令和5年度各事業所収支決算書について	委員(7)
9 30	令和6年度 第2回 理事会 報告連絡事項 1 理事長活動報告	理事(6) 監事(2)
R7 1 21	令和6年度 第3回 理事会 議案事項 1. 社会福祉法人むつみ会職員給与規程の施行に関する事項の一部改正について(案) 2. 社会福祉法人むつみ会職員の再雇用に関する要綱の一部改定について(案) 3. 社会福祉法人むつみ会就業規則の一部改定について(案) 4. 社会福祉法人むつみ会個人情報保護に対する基本方針及び特定個人情報取扱規程の改定について(案) 5. 社会福祉法人むつみ会母子生活支援施設むつみ荘児童手当等に係る貯蓄管理規程の施行について(案) 6. 社会福祉法人むつみ会定款施行細則の一部修正について(案)	理事(6) 監事(2)
3 24	令和6年度 第4回 理事会 議案事項 1. 令和6年度各会計補正予算書(案)について 2. 令和7年度各事業所事業計画(案)について 3. 令和7年度各会計収支予算書(案)について 4. むつみ保育園の閉園について 5. サテライト事業(小規模分園型母子生活支援施設)の廃止について	理事(5) 監事(2)

2. 職員功労者の表彰について

就業規則に基づき、職員の表彰を行い、功労品を贈呈している。永年勤続者及び、アイデアを広く求め、業務等の改善を行った者がその該当者である。なお、アイデアは、正職員のみならず、派遣職員、パート職員、アルバイト職員からも広く募集しており、実効性の高かったものを評価している。

当年度の表彰者は、以下の通り、12件だった。

番号	提出日	決定月	月間賞	所属	職種	氏名	提案事項	改善事項・内容	効果・他
1	5/13	6	園長賞	よつば保育園	保育士	大熊百合子	環境改善	園庭滑り台横フェンスにおける目隠しボードの児童との製作と設置	児童の水着姿等園外からの覗き防止に加え、児童製作物を用い園宣伝もできた。
2	6/27	6	園長賞	むつみ保育園	保育士	金子あゆみ	環境改善	出退勤システムICカード入れに係るタイムカード入れの再利用	既存の物品を有効活用し、環境負荷軽減(SDGs)にも貢献した。
3	8/26	8	園長賞	むつみ学童クラブ	補助員	輿水壮成	その他	学童クラブ・アルバイト職員の紹介	信頼できる者からの紹介で、安心感のある人材を確保できた。
4	10/23	11	園長賞	むつみ荘	主任少年指導員	金子哲也	環境改善	むつみ荘管内LED交換による管内環境の改善	館内明るくなり利用者から好評。業者に頼らず部品代のみという節約もできた。
5	12/2	2	園長賞	むつみ保育園	保育士	洲上菜美・大島絵里香・野呂咲子・森山明子・金子あゆみ	コミュニティ改善	むつみ保育園運動会における一時保育ちゅーりっぷぐみ利用者の招待	子引渡しでの関わりのみの保護者に園雰囲気伝えられ、園アピールにもなった。
6	12/3	2	園長賞	むつみ荘	少年指導員	金子哲也・永塚優介	コミュニティ改善	埼玉県社会福祉法人貢献活動推進協議会よりの「社会貢献賞」受賞・表彰	制度の狭間にある生活困窮者支援に多いに貢献し、法人アピールにもつながった。
7	12/9	12	園長賞	むつみ保育園	主任保育士	永塚遥	環境改善	保育園入口・天井・電灯等の経年汚れ及び蜘蛛の巣等の清掃による印象アップ	玄関周りは園や法人の顔であり、美しく衛生的に保つことの貢献度は重大である。
8	12/14	12	園長賞	むつみ保育園	保育士	五味綾太	環境改善	コロナ禍アクリルパーテーション再利用した滑り台落下防止壁の設置	ヒヤリハットを機に廃品利用で児童の安全を確保し、事故予防教育にもつなげた。
9	2/3	3	園長賞	むつみ荘	主任少年指導員	金子哲也	助成金取得	東京新聞社会事業団助成事業備品購入(プロジェクター、スポットクーラー等)	支援環境改善になる他、15万円の助成を得る過程で、弊施設をアピールできた。
10	2/3	3	園長賞	むつみ荘	主任少年指導員	金子哲也	助成金取得	埼玉県労働局両立支援等助成金(育児休業等支援コース)受領(32万円)	助成決定により、育児休業・職場復帰しやすい環境整備を内外にアピールできる。
11	2/4	2	園長賞	むつみ荘	主任少年指導員	金子哲也	業務改善	戸田市指定公金事務取扱委託における学童保育利用料の取扱事務書式の作成	受取・支払等の進捗過程を見える化できた。ミスを減らし、保護者に即応できる。
12	2/21	2	園長賞	むつみ保育園	保育士	洲上菜美	コミュニティ改善	インスタグラムの活用及び周知における工夫(QRコード付きポスター掲示等)	園アピールに加え、一時保育空室状況の掲載等を含め、利便性を大幅に向上させた。

3. 事業活動に係る決算概要

本年度の事業活動については以下の通りである。計算書類等は、弊会ホームページにて公開する。

法人全体

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	354,099	343,374	103.12%	
人件費	238,242	226,690	105.10%	
事業費	22,781	23,196	98.21%	
事務費ほか	74,878	77,394	96.75%	
事業活動費用	335,901	327,280	102.63%	
事業増減差額	18,199	16,094	113.08%	
事業活動外収入	5,957	5,446	109.38%	
事業活動外費用	1,051	1,935	54.32%	
経常増減差額	23,105	19,604	117.86%	

本部

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	120	786	15.27%	
人件費	197	320	61.56%	
事業費	203	269	75.46%	
事務費ほか	3,228	2,445	132.02%	む保按分取止めによる増
事業活動費用	3,628	3,034	119.58%	
事業増減差額	-3,508	-2,248	156.05%	
事業活動外収入	243	177	137.29%	
事業活動外費用	0	0	-	
経常増減差額	-3,266	-2,071	157.70%	

むつみ荘

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	127,835	128,404	99.56%	
人件費	82,352	79,092	104.12%	賞与引当金繰入による増
事業費	6,558	6,648	98.65%	
事務費ほか	22,799	21,959	103.83%	サテライト更新手数料等
事業活動費用	111,709	107,699	103.72%	
事業増減差額	16,126	20,705	77.88%	
事業活動外収入	3,606	3,447	104.61%	
事業活動外費用	106	118	89.83%	
経常増減差額	19,626	24,033	81.66%	

よつば保育園

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	121,850	114,396	106.52%	委託費増(人勸等)
人件費	77,210	74,077	104.23%	人事院勧告による増
事業費	6,479	6,850	94.58%	
事務費ほか	21,300	21,593	98.64%	
事業活動費用	104,989	102,520	102.41%	
事業増減差額	16,861	11,876	141.98%	
事業活動外収入	949	1,154	82.24%	
事業活動外費用	2	19	10.53%	
経常増減差額	17,808	13,011	136.87%	

むつみ学童クラブ

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	21,635	18,660	115.94%	戸田市委託事業費増
人件費	14,490	12,545	115.50%	
事業費	2,804	2,184	128.39%	
事務費ほか	4,298	3,802	113.05%	
事業活動費用	21,591	18,531	116.51%	
事業増減差額	44	129	34.11%	
事業活動外収入	4	0	-	
事業活動外費用	0	0	-	
経常増減差額	48	129	37.21%	

むつみ保育園

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	71,531	73,606	97.18%	
人件費	57,279	57,420	99.75%	
事業費	5,180	5,542	93.47%	
事務費ほか	19,062	23,888	79.80%	本部への地代負担減
事業活動費用	81,521	86,850	93.86%	
事業増減差額	-9,990	-13,244	75.43%	
事業活動外収入	1,153	668	172.60%	
事業活動外費用	935	1,798	52.00%	
経常増減差額	-9,772	-14,375	67.98%	

むつみ学習支援センター

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	10,150	6,601	153.76%	戸田市委託事業費増
人件費	6,715	3,236	207.51%	
事業費	1,557	1,702	91.48%	
事務費ほか	4,189	3,708	112.97%	
事業活動費用	12,461	8,646	144.12%	
事業増減差額	-2,311	-2,046	112.95%	
事業活動外収入	2	0	-	
事業活動外費用	0	0	-	
経常増減差額	-2,309	-2,046	112.85%	

収益事業

単位(千円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	978	922	106.07%	災害救援自販機、会議室
人件費	0	0	-	
事業費	0	0	-	
事務費ほか	0	0	-	
事業活動費用	0	0	-	
事業増減差額	978	922	106.07%	
事業活動外収入	0	0	-	
事業活動外費用	0	0	-	
経常増減差額	978	922	106.07%	

2. 第一種社会福祉事業 母子生活支援施設 むつみ荘

令和6年度 事業報告

今年度は、理念・支援方針に基づき 職員一人ひとりがチーム支援を念頭に置き、多種多様な課題を抱え当施設を利用することとなった利用者に安心・安全を確保し、専門的・多機能な支援サービスを提供することができました。

施設の持っているサービスを少しでも提供できるように工夫し、また地域社会からも必要とされる施設として、一時預かり・トワイライトステイ・ショートステイ・食育サポート・彩の国あんしんセーフティーネット事業等を十分ではありませんができる範囲で創意工夫をしながら実施し、子育て・家族支援の向上についても努力をしました。

また、全国・関東ブロック協議会に所属し、他都県とも連携を図り、多様な活動を積み重ね、有料施設の視察・研究協議に参加し、専門性の向上にも努めることができました。

現状に甘んじることなく、職員ひとり一人が鋭意努力を重ね、さらなる改善・努力及び工夫しながら職員が一体となり昨年度までとは違う特別な1年だったと思います。

令和 7年 4月

母子生活支援施設むつみ荘

統括施設長 永塚博之

1. 利用者支援:母親

中長期計画:

「利用者の意向確認と尊重」及び「利用者の自己肯定感を高める」ことを目的に、令和5年度から3年間、以下の計画を実施する。

- 1)「アフターday」の定期開催
- 2)「ショートステイ宿泊ボランティア」の確保
- 3)「寄付品等の寄贈団体」の新規開拓・定着及びネットワーク構築
- 4)「利用者の意見表明」機会の確保
- 5)「利用者の自己肯定感」を高める機会の提供

今年度は、本体施設入所5世帯(内広域からの入所5世帯)、本体施設退所8世帯(内広域からの入所7世帯) 入所理由は、DV被害からの避難7世帯、養育不安1世帯である。近年の傾向としてDV加害者からの執拗な追及や子の発達障害傾向など抱える課題の多さがうかがえた。よって入所後の支援は、その家庭ごとに個別のアセスメントを行い、また心理職や他機関と連携しながら、チームで母子の支援を行ってきた。

DV被害からの避難では、生活準備支援や離婚調停準備のため弁護士との連携や裁判所への同行、氏の変更や住民票関連の諸手続き、福祉事務所・保育園・学校・警察や児童相談所・保健センター等関係機関との情報共有等の支援を行った。精神疾患や発達障害傾向の母子の増加に伴い、入所した直後から退所後の母子の生活を見据えて障害サービス(放課後児童デイ)や医療サービスの利用について、適切な社会資源と繋がるような支援も行った。養育不安の強い世帯には、母と相談の上、定期的に居室を訪問し、乳児世帯は日々の体重管理など含め母子の様子を把握する等の支援を行った。更に日常生活に手助けが必要な世帯には、炊事や居室内の片付け・ごみ捨て、入浴支援、買い物等、また保育園への送迎支援の他、子どもの生活リズム確立のため朝のモーニングコールを行った世帯もあった。自力での通院が困難な母親の通院支援をも行った。

母の就労に関しては、就労相談機関への同行や情報提供を行った。就労は、経済的自立だけでなく社会との繋がりや自己肯定感をえられる機会とも考え、福祉的就労も含め社会資源を幅広く活用できるようにとの意図を持って支援している。

また外国籍である母の支援では、日本語理解が十分でないことや自国文化との相違などが母子の生活に不利益とならないように、母と意思疎通を取りながら支援を行ってきた。

入所者の中には、原家族や親族との関係が薄く、周囲から養育の手助けが得られず、孤独感を感じながら子育てする方も多いため、それらの解消を目的にすることも含め、上記のような様々な支援を組み合わせ、専門性を活かしながら支援を行ってきた。

また利用者支援のひとつとして、例年通りNPO法人セカンドハーベストジャパン様、(株)ニチレイ様、カーブス様、明治乳業様、セブンイレブンジャパン様、日吉様(野菜)など、地域の企業のご協力のもと、『食育』への取り組み(食育支援サービス事業)を行った。

今年度も戸田市商工会女性部の皆様のご協力を頂き、「みんなで集う食事会(ちちんぷいぷい)」を定期開催した。

母親向けの行事である「母の会」において、令和6年度は「学ぶ」を目的とし、1回目は、戸田市消防署の救急隊員の方をお招きし「救命講習会」を実施した。2回目は、戸田市くらし安全課の方をお招きし「くらしの中のトラブル～事例と対応の方法」講座を実施した。

2. 利用者支援:小学生以上の児童

中長期計画:

「メディアリテラシー、ネットリテラシーを育てる」及び「行事を通じてセルフアドボカシー(意見表明)」を育てる」ことを目的に、令和5年度から3年間、以下の計画を実施する。

- 1)「インターネット」の安全な利用
- 2)「意見表明」機会の提供
- 3)「意見調整」力の育成

①支援概要

令和6年度 利用児数(サテライト児童は含まない)					
利用児童総数		小学生	中学生	高校生	合計
		17	5	2	
内 訳	新規入所児童数	2	0	0	2
	退所児童数	4	1	2	7
	一時保護児童数	1	0	0	1
	サテライト移行	0	0	0	0

入所に至る児童の中には、自尊心の低さや、複雑な課題が混在する様子が多数見受けられる。そのため、児童との関わりにおいては自己を肯定することを目的とし、受容を主軸とした対応を心掛けた。

児童が抱える課題は、被虐待経験、発達障害的言動、暴言・暴力、経験不足など複雑で多岐にわたる状況から派生したものである。母子関係、きょうだい関係、家族関係、友人関係といった自己以外の他者との関係性においても、仲介やサポートが必要な場合には適宜対応した。児童一人ひとりに応じた配慮が求められ、その都度、職員間で対応を検討した。母や児童の意向も交えながら個別対応(学習、心理面談等)を実施。適宜、関係機関との連携を図った。退所を見据えた対応として、必要に応じて家族会議を行った。母子に提案し、承諾を得て、何を議題とするか打ち合わせも重ねて実施。職員がファシリテーターとなり、母子それぞれが自己の意思や考え、気持ちを共有する場として活用した。時には、各担当が母や子の代弁者となり、よりお互いが伝わりやすいような配慮をし、母子間での課題にアプローチを図った。

小学生対象の学習支援として、学習会と個別での学習支援を実施した。学習支援の主な目的として、勉強の習慣づけ、基礎学力の定着、成功体験の積み重ね(自己肯定感を育む)が挙げられる。学習会は、対象を新1年生とし、年度の初期に実施している。新しく小学校に上がったタイミングで鉛筆の持ちかたや学習時の正しい姿勢などを子どもたちに確認しながら学習会を実施した。

個別での学習支援については、母や児童からの要望を受け個別対応で学習に取り組む時間を設けている。児童の習熟状況を確認しながら、個々の児童のペースも加味して実施を重ねた。

中高生対象の学習支援として、学習の促しをするために学習支援センター(Lcafe)や場所の提供を必要に応じて職員が学習を直接的に支援した。テスト期間や高校受験といった時期には、回数を増やしたいという要望に応えられるよう体制を整えた。特に、高校受験を控える児童に対しては、受験への意識付けを丁寧にサポートし、母からの理解と協力も得ながら、無事に希望校に合格することができた。

行事では、季節を感じ楽しむものや伝統・由来を学ぶ内容に配慮した。また、安心・安全のため、事前に母親へ説明し、許可・協力を得るよう心掛けた。体験を通して得た、個々の児童が何を感じ思ったかの自己表現を大事にするため、気付きを言葉にできるよう、感想や意見を伝え合う場を設けた。その際には、表現に正解も不正解もなく、他者の価値観によって否定されることのないよう、留意した。

担当職員との個別の学習、あそびを通しての関わりも行なった。男児を育てる母の悩みとして、公衆浴場の使い方を教えにくいというニーズがあり、修学旅行や林間学校などの学校行事への準備もかねて、男性職員が公衆浴場での外出体験を通してマナーを伝えた。また、その他にも生活の支援として母の不調時に子の入浴の支援を母子支援員・少年指導員で行い、母の負担の軽減を図った。

② 荘内における学習支援実施状況

【小学生の学習会】

17:50 入室、勉強準備 18:00 開始、挨拶をする 19:00 終了、挨拶をする 19:05 ☆閉室 ☆学童迎え依頼があった児童は 母の迎えまで待つ(~19:05 まで保育)

学習会の主な目的は
○「宿題」や「勉強」に取り組む習慣づける事
○「分からない・教えて」といえる事
○「できること」を増やし、勉強への意欲を高める事
の三点である。なお、学習会後には保護者児童の様子を伝え、保護者との連携に努めた。

【個別学習】

小中高生を対象に少年指導員で支援した。基本的には利用児や保護者からの希望を受け付けつつ、職員からも促しの声かけを行なっている。今年度は、母からの要望を受け小学生の学習支援を週1回、個別で実施した。

【自主学習】

自主学習として、学習室の個人利用を許可した。基本的には平日の19~20:45の利用(中高生限定)が主だが、希望があれば休日利用も可能とし対象に小学生も可とした。幼いきょうだいがいる世帯の場合、居室で勉強をすることの困難さもあるため、利用児それぞれの利用理由を尊重して受け入れることとした。利用時間が被る場合は相談室も学習場所として利用可とした。

3. 利用者支援:幼児

～ 施設内保育室:たんぼぼルーム ～

中長期計画:

「年齢に応じた自己肯定感や生活習慣の獲得」及び「保護者からの育児相談の向上」を目的に、令和5年度から3年間、以下の計画を実施する。

- 1)「発達段階」の共有
- 2)「季節感を伴う保育環境」の整備
- 3)「定型発達及び発達障害」の理解

【支援概要】

たんぼぼルームでは利用者が入所して入園前の期間や施設内での面談時等に補完保育を行った。

① 利用事由

母親の就労・求職活動・通院・離婚調停・市役所の手続き・多子世帯の育児負担軽減、特例として登園出来ない子どもの預かり等を行った。

② 利用初回面談

施設内保育を実施するにあたって母親・子どもの理解を深めるために面談を行い、面談時には子どもの一日の生活の流れや、食事・アレルギー（給食の献立表をもとに）、睡眠時の様子など細かく聞き取り、母子共に安心して利用出来る様にしている。

③ 補完保育

一人ひとり子どもの心身の状態や育ちをよく観察し、寄り添いながら年齢や発達に応じた保育を行った。子どもの興味や関心に共感し集中して取り組める環境設定に配慮し、達成感を味わい次に挑戦する意欲につながるよう心掛けた。

散歩を積極的に取り入れ自然に親しみ、体を動かして心身の開放感を楽しめるよう取り組んだ。

アレルギーの確認、食事中の咀嚼、午睡時のブレスチェック、熱中症等安全面を十分に考慮し家庭以外の生活リズムが体験できるよう配慮した。子ども達が安心して過ごせるように温かい雰囲気と優しい言葉がけを心掛けてじっくり関わることで、不安感の軽減や子どもの新たな面や気になる面の気付きにつながった。

母親や兄弟の体調不調等保育園の送迎が不可能な時の送迎支援を行なった。回復期にある病児の見守り保育やアフターケアとして退所児の保育も行った。

④ 施設内関係

施設内での母親懇談会・母の会では預かり保育を実施した。異年齢の集団保育のため保育の場

所の工夫や遊ぶ玩具にも安全性を配慮した。乳児世帯は母と離乳食作りの機会を持ち、育児相談を行った。ゴミ出し支援や洗濯支援等の家庭支援に関わり、施設内行事においても積極的に参加をし、母子との関りを深めた。保育士と母子支援員で乳幼児の保育の様子を情報共有する機会を持ち、他機関に多くの情報が伝えられるように協力をしながら支援を実施した。

環境整備として季節の変化を意識してもらう為に、玄関入り口や事務所入り口の壁面制作と草花の植え替えを実施した。

⑤ 次年度に向けて

来年度も、衛生面・安全面に配慮しながら子どもの発達や育ちに寄り添いながら保育を行なっていきたい。

【施設内保育実施状況】

保育理由	男女別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
仕事／通学	男											2		2
	女											1		1
買物	男							2	1	2	1	1	2	9
	女								1					1
通院	男	3	2	1			1		5	1				13
	女								2	1				3
市役所	男							4						4
	女					1		2						3
面談	男							3						3
	女					4	1							5
リフレッシュ	男								2					2
	女													0
養育支援(相談)	男													0
	女													0
養育支援(その他)	男	5	2	2	4	2		6	12	6	2	2	8	51
	女	1	1	2	2	9		3	8	5			3	34
病児預かり	男									1		2		3
	女											1	1	2
送迎支援	男	28	24	18	22	15	19	17	14	14	10	11	6	198
	女					1	1		2	3		8	4	19
小計	男	36	28	21	26	17	20	32	34	24	13	18	16	285
	女	1	1	2	2	15	2	5	13	9	0	10	8	68
合計		37	29	23	28	32	22	37	47	33	13	28	24	353

総合	353 人
----	-------

実人数	75 人
-----	------

4. 利用者支援:心理

新しく入所された世帯に対し、生活に落ち着きが見られる1~2か月をめぐりに、初回心理面談を実施している。初回の面談では、相談室の紹介、守秘、心理士相談の利用の仕方等を説明した上で、入所に至る経緯を振り返り、新しく始まった施設生活についての不安や困りごとを尋ねている。利用児者が希望すれば、そのまま定期的な継続面接の約束をし、相談支援にあたることとなる。

当年度の相談内容は、職業選択、対人関係や養育における悩み、生き立ちやトラウマ、精神症状などが見られた。支援方法は、カウンセリング、プレイセラピーを実施した。生活や学習上の困難を利用児者と共有できる場合には、心理検査、認知トレーニング、箱庭療法、コラージュを勧め、実施に至ることもあった。

心理職は複数人配置されているため、月に一度程度、心理士会議の時間を設け、情報共有、分担内容、事例検討を行った。なお、現入所者だけでなく、アフターケアとして心理支援を実施している。

【心理療法等事業報告】

(1)実施母子数 18 人

(2)心理療法等の回数 281 回

内容	心理療法	心理検査	生活場面面接(延べ人数)	施設職員等への助言及び指導	処遇会議等への出席	その他	計
合計	258	4	1	18	0	0	281

(3)対象母子の年齢・主な理由別人数(実人数) (単位:人) 18 人

	身体的暴力又は身体的虐待	経済的暴力又は保護の怠慢・拒否	性的暴力又は性的虐待	心理的暴力又は虐待	ひきこもり	その他	計
0～3歳未満							0
就学前児童							0
小学生	1	1			1	2	5
中学生	1	1			1		3
上記以外の児童	1						1
母親	5	4					9
計	8	6	0	0	2	2	18

5. 利用者支援:分園(サテライト)型母子生活支援施設

本年度、本体施設からサテライトへの移行やサテライトからの退所はなく、令和7年3月末現在、1世帯がサテライトに入所している。サテライトは、職員が建物に常駐していない環境であり、主たる目的は、退所に向けての準備である。本体施設では、母子だけでの生活の不安を口にする利用者も多い為、サテライトは、ステップハウスとして効果的と考えている。サテライトでは、月1回の定期訪問の他、面談や電話相談、同行支援なども必要に応じて行っている。

本年度は、母の健康相談、家族関係や母子関係についての相談が多かった。学校や関係機関(福祉事務所や医療機関、サービス提供機関など)と小まめな連絡や連携を図り、支援を行った。

サテライト入所者にも、本体施設入所者と同じように、行事提供などを行った。食育サポートは、食材等だけでなく、商工会女性部に作って頂いた食事を届けもした。寄附で頂いた洋服や、クリスマスプレゼントの寄附、無料美容室の招待など、本体施設と同様にサテライト利用者にも提供し喜んで頂いた。

サテライトはステップハウスとしての機能を持ち、ある程度課題が解決し、そのうえで地域生活に慣れる意味合いで入所してもらってきた。しかし、近年、DV被害や課題が込み合う世帯が増加し、福祉事務所が認める措置期間の短縮もあって、サテライトに移行できるケースが少なくなった。ゆえに、今年度中の現入所世帯退所をもって廃止の方向である。

6. 利用者支援:アフターケア

母子生活支援施設退所者に対するアフターケアとして「来所・電話相談」・「自宅訪問」・「同行支援」・「子どもの学習支援」・「心理支援」・「食育サポート事業(食材提供・むつみスーパー)」を中心に実施した。食育サポート事業においては、NPO法人セカンドハーベストジャパン様や、カーブスフードドライブ事務局様、戸田市商工会様、(株)日吉様、地域・御近隣の皆様他、多くの方々のご協力の下、沢山の食材等を寄附いただいて運営してきた。が、今年度は、定期的な寄附品の中止があり、寄附品食材が集まり次第開催する不定期開催に変更せざるを得なくなった。毎月行っている退所者向けの食育サポートでは、毎月20世帯近くの退所世帯が来荘していてニーズの高さを感じるがゆえ、安定した運営の難しさも痛感する1年であった。

例年同様「季節のお手紙」として、全ての退所世帯を対象に、職員の写真入り年賀状の送付、子どもを対象とした暑中見舞いを送付した。

退所後の支援や関わりを持つケースは増加しており、職員が退所者の関係者会議に参加する回数も多かった。入所期間中に十分な課題解決に至らず退所せざるを得ないケースや複数の課題を抱え、課題が課題を呼ぶような案件も少なくない。「切れ目の無い支援」を意識し、複数の機関がその時々々のケース状況に応じて、濃淡のある関わりを維持していくことと、機関連携の必要を強く感じている。今後も、地域への退所世帯がいつでも相談できる場所でありたい。今年度実施したアフターケアの件数等詳細については、別紙を参照のこと。

【別紙 令和6年度 アフターケア実施状況】

	電話:相談		電話:近況報告等		来所:相談		来所:近況報告等		家庭訪問		補完保育		心理支援		関係機関等連携		その他		食材等提供	合計	
	母	子	母	子	母	子	母	子	母	子	病児	補完	母	子	母	子	母	子	世帯数	件数	
4月	1		2		2	1	3	3		1			1	3	2	2	2	1	2	31	55
5月	3		2		2	1	3	1					1	4		4	1	1		36	59
6月	2		2		2	1	4	2						2	3			1		35	54
7月	5		2	1	5		3				1			2	5	1	7	1		48	81
8月	4		3		3		3					1		1	4		5	1		39	64
9月	7	1	5	1	1	1	7	1						2	1	1	2	3		37	70
10月	6	2	5	2	1	1	2	6						2	6	7	2	5		26	73
11月	2				1		2					1	1	3	6	3	6	3		19	47
12月	4		4	1	1		3	2						2	5	3	1			31	57
1月	3	2	3		1		5	1	4			3	1	1	7		4	1		14	50
2月	6		2	1	1		3					3		1	3	2	5			21	48
3月	2		2	3	1		8	6				3		1	5	6	1	1		61	100
小計	45	5	32	9	21	5	46	22	4	1	1	11	4	24	47	29	36	18		398	758

述べ相談件数
758 件

母利用合計	235
子利用合計	125
世帯計	398

7. 利用者状況

令和 7年 3月 31日現在

(1) 毎月利用世帯人員数

本体施設 入所世帯定員 20 世帯(現員 16 世帯) 利用率 80%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	年間利用率
世帯	19	17	18	16	17	16	16	16	17	18	16	16	202 世帯	84%
人員	52	44	44	43	45	45	42	45	45	41	43	43	532 人	

サテライト 入所世帯定員 5 世帯(現員 1 世帯) 利用率 20%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	年間利用率
世帯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12 世帯	20%
人員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48 人	

(2) 各年度別入所者数

本体施設

年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
世帯数	11世帯	10世帯	9世帯	7世帯	7世帯	8世帯	6 世帯

サテライト

年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
世帯数	1世帯	1世帯	3世帯	1世帯	3世帯	1世帯	1 世帯

(3) 各年度別退所者数

本体施設

年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
世帯数	8世帯	8世帯	8世帯	7世帯	4世帯	6世帯	8 世帯

サテライト

年度	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
世帯数	2世帯	2世帯	1世帯	1世帯	2世帯	2世帯	0 世帯

(4) 当該入所者に係るむつみ荘と契約した福祉事務所

福祉事務所名	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸田市福祉事務所	8	7	6	7	7	4	3
戸田市外	3	5	6	1	1	6	9
合計	11	12	12	8	8	10	12

(5) 主な入所理由(サテライト移行世帯も含む)

理由	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経済困窮	6	5	6	5	11	9	6
子の養育支援	2	4	1		1	3	1
精神的疾患等		1				3	0
D V	3	1	5	4	8	3	9
その他	1	1		1	1	1	0
合計	12	12	12	10	21	19	16

(6) 主な退所理由(サテライト移行世帯も含む)

理 由	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
結 婚(復縁含む)	1	1					1
サテライト利用	1	1	2	1	3	1	
公営住宅入居				1			
民営住宅入居	8	8	6	7	3	6	4
身内の介護等							
子が18歳							
親と同居	1	1				1	1
その他の社会福祉施設							2
仕事の都合(勤務状況等)							
その他	1	1	2	1	1	1	
合 計	12	12	10	10	7	9	8

(7) 家族構成の状況

本体施設

家族数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	令和6年度
世帯数	9	4	2	1	16 世帯

サテライト

家族数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	令和6年度
世帯数	0	0	1	0	1 世帯

(8) 入所期間状況

本体施設

期間	1年未満	1~2年	2~3年	3~4年	4~5年	5年以上	合計
世帯数	5	5	6	0	0	0	16 世帯

サテライト (記載省略)

(9) 近年退所者の平均在所年数(サテライト利用者も含む)

入 所 期 間	令和30年度	令和31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 年 未 満	5	3	3	3	1	1	2
1~2年未満	3		2	2	4	4	2
2~3年未満	3	1	3	3	3	1	1
3~4年未満		3	2	2	2		1
4~5年未満	1				1	1	1
5~6年未満							
6~7年未満							
7~8年未満							
8 年 以 上							1
合 計 世 帯	12	7	10	10	11	7	8

(10) 母親の年齢別状況

本体施設

平均年齢 35 歳

年 齢	20歳未満	20~25	26~30	31~35	36~40	41歳以上	合計
人 数	1	1	4	0	6	4	16

サテライト

平均年齢 40 歳

年 齢	20歳未満	20~25	26~30	31~35	36~40	41歳以上	合計
人 数	0	0	0	0	0	1	1

(11) 学年別状況

本体施設

未就学児 13 人

種別	小学生						計	中学生			計	高校生			計	合計
学年	1	2	3	4	5	6	11	1	2	3	3	1	2	3	0	14人
人数	4	2	2	0	3	0		2	0	1		0	0	0		

サテライト

未就学児 0 人

種別	小学生						計	中学生			計	高校生			計	合計
学年	1	2	3	4	5	6	2	1	2	3	1	1	2	3	0	3人
人数	1	0	0	0	1	0		1	0	0		0	0	0		

(12) 児童男女・年齢別状況

本体施設

平均年齢 6.6 歳 未就学児 13 人

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男	1		3		1	1	1	2	2	2		2		1		1				17
女		1	1		3		1	2				1		1						10
合計	1	1	4	0	4	1	2	4	2	2	0	3	0	2	0	1	0	0	0	27

サテライト

平均年齢 10.3 歳 未就学児 0 人

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男								1												1
女												1		1						2
計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3

<参考>

【職員体制】

区分	直接処遇職員								計	
	施設長	事務員	母子支援員	看護師	少年指導員	医師	栄養士	調理士		その他 (保育心理)
国基準	1		3		2	1		1	2	10
現職	1		6		4	1		1	2	14
常勤	1		6		4			1	1	13
非常勤						1			2	3
差し引過不足	0	0	3	0	2	0	0	0	1	6

(資格:福祉施設施設長資格1名、精神保健福祉士1名、社会福祉士4名、保育士5名、放課後児童指導員6名、臨床心理士2名、認定心理士1名)

【勤務体制】

朝番	7:30~16:00	中番	10:30~19:00
早番	9:00~17:30	遅B番	12:30~21:00
遅A番	11:30~20:00	宿直	14:00~翌15:00(就寝 22:00~翌)6:00

8. 施設行事

子どもの健全発達支援の目的で、グループワークやレクリエーション活動を提供した。季節に応じた催し、親子親睦旅行などを通じ、母子関係の安定や再構築もねらいである。結果的に、利用児者同士にゆるやかな交流が生じ、ピアサポート効果もあるようだった。

行事名/種類	実施日/概要
卒業進級を祝う会 集会 参加者数: 幼児 9名 小学生 11名 中学生 7名 母親 15名 職員・実習生・Vr 13名 その他() 名 費用: 76,655 円	令和 6年 4月 14日(日) 11時 0分 ~ 12時 30分 場所: 第二複合施設3階 皆の成長を祝う機会として実施した。新入学児が11名おり、それぞれ「頑張りたいこと、楽しみなこと」をインタビューした。また皆で楽しめるゲームを2種類行い、子ども達は集中して楽しむことができた。食事(モスバーガー他)も皆で楽しんで食べることができていた。途中、体調不良を訴えた母がいたが、別室で少し休憩し、回復した。
ちちんぷいぷい① 集会 参加者数: 幼児 5名 小学生 9名 中学生 5名 母親 12名 職員・実習生・Vr 4名 その他() 名 費用: 13,964 円	令和 6年 4月 22日(金) 17時 30分 ~ 19時 30分 場所: みつばち 今回は、職員のみで調理を実施。メニューは「カレーライス・トッピングおかず・塩昆布和え・スープ」食事は前半・後半に分けてみつばちで実施。参加者は偏りなく、ゆったりとしたスペースで食事ができた。また行事最中の緊急対応があり、職員が手薄になったが、各職員が臨機応変に対応し、問題なく実施できた。
こどもの日 配布 参加者数: 幼児 10名 小学生 13名 中学生 7名 母親 18名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名 費用: 14,048 円	令和 6年 5月 2日(火) 17時 0分 ~ 時 分 場所: 事務所 こどもの豊かな成長と、育ててくれた母への感謝の気持ちをもつこの行事。今年は母子それぞれにケーキ(子はこいのぼりショートケーキ、母はチョコレートケーキ)をお渡した。また子どもが一人でもできる「こいのぼりキッド」をお渡し、制作してもらった。できたものは、事務所付近に貼って、皆で楽しむことができた。
子担行事 外出 参加者数: 幼児 名 小学生 8名 中学生 1名 母親 名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名 費用: 9,790 円	令和 6年 5月 6日(月祝) 10時 ~ 15時 30分 場所: みつばち・上部公園 公園外出と母の日に向けたプレゼント作りを一緒に行った。前半後半の2班に分けて実施。上部公園では安全に配慮し、楽しく遊ぶことができた。母の日のプレゼントは、カーネーションを職員が準備、子らは母へのメッセージカードを作成し、それぞれで母に渡した。不参加だった小学生以上の子らには、後日、手紙を書いて貰い、母へプレゼントを渡した。
母の日(母担) 配布 参加者数: 幼児 10名 小学生 13名 中学生 7名 母親 18名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名 費用: 9,788 円	令和 6年 5月 10日(金) 17時 30分 ~ 場所: 事務所 母の日は、例年幼児からのプレゼントを作っていたが、子らからは保育園で制作物があること、母が一番嬉しいプレゼントは何か、を考え、今年は食事提供とした。メニュー「五目おこわ・豚汁・鳥のほぐし身サラダ・ボンジリ炒め」母らに食事提供はやはり人気であり、美味しかったとの言葉を頂き、レシピがほしいとの話もあった。食事提供が母らには喜んでもらえるため、今後も続けることが望ましいと考える。
ちちんぷいぷいwith商工会② 集会 参加者数: 幼児 6名 小学生 5名 中学生 2名 母親 9名 職員・実習生・Vr 4名 その他() 名 費用: 15,598 円	令和 6年 6月 20日(木) 13時 0分 ~ 19時 30分 場所: みつばち 商工会女性部の方々が来荘、食事作りをしてくださった。寄付の食材があり、それを使うことができた。利用者は体調不良等で不参加の方が多く、残量が多くなってしまった。がみつばちで皆で楽しく食事をすることはできた。
4,5,6月 誕生日会 集会 参加者数: 幼児 2名 小学生 6名 中学生 1名 母親 3名 職員・実習生・Vr 6名 その他() 名 費用: 9,649 円	令和 6年 6月 28日(金) 18時 0分 ~ 18時 30分 場所: みつばち 8名対象。プレゼントは、幼児は本、小学生は靴下、ビニール製のキャラクター袋、キャラクター巾着、中学生は、バッグ、卓球用品袋やタオルを準備した。ゲームは実習生からの手遊びと絵本読み聞かせを行った。各々の楽しみ方で、誕生日をお祝いできた。
個別外出 外出 参加者数: 幼児 名 小学生 2名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 1名 その他() 名 費用: 1,400 円	令和 6年 7月 7日(日) 16時 0分 ~ 17時 30分 場所: 彩香の湯 兄弟プログラムで銭湯へ。長男が林間学校に参加するため、銭湯を体験することと、風呂の入り方を伝え、洗い方の指導を必要に応じて伝えていくことを目的として実施した。壘で銭湯に向かい、入浴する前に、洗い方の確認をし、実際に洗う場面でも必要に応じて指導をした。そのほか、複数のお風呂があり、それは楽しんで入っていた。☑ ☑ ☑

七夕	配布	令和 6 年 7 月 7 日 (日) 時 分 ~ 時 分 場所: 事務所前
参加者数: 幼児 11 名 小学生 13 名 中高生 7 名 母親 18 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		事前に笹を準備、1週間程度までから短冊も準備し、各々短冊に願い事を書いて貰った。季節行事を楽しむ目的で行い、それぞれ楽しむことができた。
費用: 0 円		
冷やし中華&映画鑑賞	集会	令和 6 年 8 月 11 日 (日) 11 時 30 分 ~ 15 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 9 名 中高生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他() 名		感染対策、アレルギーチェック、環境調整(机椅子の配置)に十分配慮して実施。調理は事前準備をしたが、当日の洗い場がひとつであるため、待ち時間が長くなってしまった。しかし一人ひとりの役割や作業をきちんとこなすことはでき、また子ども全体が落ち着いて過ごせていた。安全に混乱なく実施できた。冷やし中華を各々で作ったあと、みつばちで映画鑑賞をした。
費用: 4,537 円		
ちんぷいぷいwith商工会③	集会	令和 6 年 8 月 22 日 (木) 17 時 30 分 ~ 19 時 30 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 6 名 小学生 8 名 中高生 6 名 母親 12 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		メニュー:混ぜ込みご飯 春雨サラダ スープ(商工会の方に作って頂く)冷凍から揚げ さつまいものきんぴら ナスの漬物 スイカ(職員で準備) 事前に打ち合わせでメニューを決定、買い物は職員で済ませ、下ごしらえも少し済ませていた。職員での調理メニューは寄付の野菜を活用し、買前でメニューを決めた。当日は、商工会の方3名が11時に来荘され、12時には完成していた。子らは混ぜ込みご飯があまり得意ではない子が多かったが、皆での食事を楽しむことはできた。
費用: 13,787 円		
親子ふれあい日帰り旅行	外出	令和 6 年 9 月 23 日 (月) 9 時 0 分 ~ 16 時 10 分 場所: むさしの村
参加者数: 幼児 10 名 小学生 7 名 中高生 1 名 母親 13 名 職員・実習生・Vr 9 名 その他() 名		職員も含め40名で楽しむことができた。大型バス1台でむさしの村へ向かい、芋ほり・昼食、その後は各自で園内を楽しむ自由行動とした。大きなトラブルもなく、利用者は時間やルールを守った行動をしてくれた。体調不良者への急遽の対応として、行き帰りはバスではなく世帯のみで公用車で行ったり、園内での発熱者には、途中、公用車内で休んで貰う対応をとった。
費用: 345,785 円		
7・8・9月誕生日会	集会	令和 6 年 9 月 25 日 (水) 18時 ~ 18時30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 6 名 小学生 4 名 中高生 名 母親 5 名 職員・実習生・Vr 4 名 その他() 名		7名対象。プレゼントは、幼児(色鉛筆やヘアゴム)・小学生(靴下や知育玩具)、中学生(靴下やハンドタオル)を準備した。ゲームは、風船を利用した爆弾ゲームを行い、皆で楽しむことができた。誕生日者以外も参加しにぎやかな会となった。
費用: 9,049 円		
ハロウィン	配布	令和 6 年 10 月 30 日 (水) 15:30~19:30 場所: 2階廊下付近
参加者数: 幼児 13 名 小学生 13 名 中高生 4 名 母親 17 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		全員参加行事。通常の「トリックオアトリート!」でお菓子を配るだけでなく、独自のゲーム「こびとをみつけるゲーム」を実施。2階廊下等にこびと凶鑑の小人の絵を隠れさせ、見つけるゲームも行った。隠れているものを探すことで子どもは熱心に参加し、また職員の服にもつけたりすることで更に楽しさが増していた。行事後も小人をそのままにしておくことで、長く楽しむことができていた。
費用: 5,085 円		
施設間交流行事	外出	令和 6 年 11 月 10 日 (日) 8:50~15:30 場所: 戸田市障害者センター
参加者数: 幼児 名 小学生 9 名 中高生 3 名 母親 名 職員・実習生・Vr 5 名 その他() 名		県内の3施設が集まり交流行事を実施。ドッジボール、しっぽとり、リレー、綱引きを各施設対抗戦で行った。実施前に、各施設の職員が6回集まり打ち合わせを行い、場所や実施内容を決めた。当日は、皆楽しめたが、対抗戦の意識が強く、交流の側面が薄くなってしまったことは課題。また怪我をしてしまった児童も出たため、今後は再発防止に十分つとめていく。
費用: 13,111 円		
七五三	配布	令和 6 年 11 月 15 日 (金) 17 時 0 分 ~ 場所: 事務所
参加者数: 幼児 13 名 小学生 13 名 中高生 4 名 母親 17 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名		11/15は七五三のお祝いの目的で、皆にお赤飯・サラダ・豚汁を配布。また七五三のお祝い対象児2名(3歳女児、5歳男児)は、12/9にフォトランドが今年もご協力くださり、撮影を行っていただいた。終了後は、台紙に入れ、写真をプレゼントしてくださった。当日はお洒落をさせて貰い、とても貴重な体験となり、また成長のお祝いとして、母らもとても喜んでた。
費用: 15,301 円		
母の会①	集会	令和 6 年 11 月 29 日 (月) 11 時 0 分 ~ 12 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中高生 名 母親 6 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他() 名		戸田市出前講座を利用し「救命講習」を行った。救急隊3名から講習を受けた。主に、子どもに対応できるよう、心肺蘇生法と窒息対応を教えて頂いた。少人数での実施となり、一人ひとりが実践できたことはとても有意義だった。また昼食前の時間の実施であり、昼食用にお弁当を準備した(事前にお弁当の希望聞き取り)
費用: 15,916 円		
クリスマス会	集会	令和 6 年 12 月 8 日 (日) 10 時 30 分 ~ 13 時 0 分 場所: 第2複合集会室
参加者数: 幼児 12 名 小学生 9 名 中高生 4 名 母親 16 名 職員・実習生・Vr 10 名 その他() 名		当日は、子らの出し物・ジャグリングショー・昼食会・ミニビンゴ大会・サンタ登場の流れで行った。トラブル等はなく、安全に楽しむことができた。自由席での混乱もなかった。早めに打ちあわせを開始したことで外部ショーは希望通りに実施できた。またサンタ登場は子らにとって楽しみの1つであり、写真撮影まで楽しむことができていた。
費用: 209,922 円		

冬至・ちんぷい 集会	令和 6年 12月 18日 (水) 17時 30分 ~ 19時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 14名 小学生 13名 中学生 4名 母親 18名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名	前日から野菜の下ごしらえを行い、当日、職員で分担して調理を進めた。メニューは「から揚げ・ハンバーグ・ほうれん草のベーコン炒め・かぼちゃの煮つけ・サラダ(市販)・白米・ふりかけ・味噌汁」冬至を意識し、かぼちゃを提供。一緒に、入浴剤ゆずを配布し、ゆず湯をお薦めした。食事は、前後半に分けてみちばちで会食。好きなものを好きなだけ取り、楽しくおいしく食べることができた。
費用: 23,223 円	
10.11.12月誕生日会 集会	令和 6年 12月 26日 (木) 18時 ~ 18時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 8名 小学生 3名 中学生 名 母親 4名 職員・実習生・Vr 4名 その他() 名	5名対象。プレゼントは、幼児(パズル)・小学生(玩具セット)を準備した。また寄付の本もあったため、それも一緒にプレゼントとした。ゲームは、おしり歩き鬼ごっこを行い、音楽に合わせて皆で楽しむことができた。誕生日者以外も参加しにぎやかな会となった。
費用: 4,678 円	
正月あそび 外出	令和 7年 1月 5日 (日) 場所: 市内氷川神社
参加者数: 幼児 名 小学生 11名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名	2班に分けて実施(10時~11時~)初もうでに行き、お賽銭・おみくじなど、季節行事を行った。危機管理として、職員で打ち合わせ後、子どもたちにも、行く前に約束の確認を行い、安全に行くことができた。年末に行ったクリスマス行事で残ったおやつを再利用し、今回活用できた。
費用: 2,000 円	
餅つき 集会	令和 7年 1月 19日 (日) 11時 30分 ~ 13時 0分 場所: 玄関前・みつばち
参加者数: 幼児 12名 小学生 7名 中学生 3名 母親 13名 職員・実習生・Vr 11名 その他(退所者) 9名	前日から必要道具の準備などを行った。当日は職員が先に餅をつき、利用者は希望制でその後についた。場所としてはたくさん集まると狭い場所ではあるが、安全に配慮しながら楽しく参加できていた。餅のほか、豚汁を準備し、みつばちで食事。季節柄、感染症に配慮が必要であり、各自の判断で居室に持ち帰った方もいた。お餅は配布しやすいよう、あらかじめ職員がバック詰めにしたため、お渡しの際は混乱等はなかった。片づけまでスムーズにでき終了できた。退所者も年賀状等でお誘いをし3世帯が参加してくれた。
費用: 31,814 円	
節分(母担) 配布	令和 7年 2月 2日 (日) 12:00~ 場所: 事務所
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名	*小学生行事で、自分の恵方巻を作ることを予定していたため、家族と一緒に昼食で恵方巻を食べられるよう準備した。小学生の分も含めて、購入品を準備した* セブンイレブンにて、恵方巻(小学生以上は普通サイズ。幼児はミニサイズ)を事前に予約。またデザートとして、ローソンで「金棒エクレア」を予約し、昼食時間に配布した。子担が準備していた福豆も一緒にお渡しした。季節行事としての恒例であるが、今回初のエクレアは好評であった。
費用: 28,184 円	
節分(子担) 集会	令和 7年 2月 2日 (日) 10時 30分 ~ 13時 0分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 9名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 2名 その他() 名	小学生が自分で自分の恵方巻を作ることにチャレンジ。2班に分けて実施。巻く作業が難しかったため、キッドを準備し、そこにセットをして作る作業をした。ごはんやいれる具を調整しながら作ることができた。自分の分を自分で作る達成感を味わうことはできた。ただ待ち時間ができてしまうと、複数で走り回るなどの動きもあり、何らかの対応を今後は検討していきたい。
費用: 6,034 円	
母の会② 集会	令和 7年 2月 5日 (水) 13時 0分 ~ 14時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 名 小学生 名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 名 その他() 名	戸田市出前講座を活用し「くらし安全講座」を受講。くらし安心課の方3名が来荘し講座を実施。「くらしの中のトラブルとお金の管理」として講座だけでなく、ワークショップ・ゲームも交えての時間となった。少人数だったことで、発言もしやすい雰囲気があり、一人ひとり意見を出し合い、ゲーム感覚で楽しみながら学べたことは良かった。また会の前に、参加者に弁当を配布し、食べてからの開催となった。
費用: 10,049 円	
ひな祭り 配布	令和 7年 3月 3日 (月) 17時~ 場所: 事務所
参加者数: 幼児 11名 小学生 15名 中学生 4名 母親 17名 職員・実習生・Vr 名 その他 退所者 名	全世帯に配布。メニュー「チラシ寿司・お惣菜2種・中華スープ」前日に下ごしらえをかなり終わらせており、当日は調理・配膳を行った。量は適量で準備できた。今後、ひな祭りの習わしなどを伝えていくことも検討していきたい。
費用: 14,427 円	
1.2.3月誕生日会 集会	令和 7年 3月 10日 (月) 18時 0分 ~ 18時 30分 場所: みつばち
参加者数: 幼児 3名 小学生 3名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 5名 その他() 名	6名対象。プレゼントは、各子どもに合わせた絵本や本を準備しお渡しした。ゲーム時間は実習生が担当。絵本の読み聞かせとマジックを披露。マジックは途中、子ども参加でき、皆で盛り上がり楽しむことができた。
費用: 7,091 円	
公園行事 外出	令和 7年 3月 16日 (日) 10時 0分 ~ 13時 30分 場所: プリムローズ
参加者数: 幼児 名 小学生 5名 中学生 名 母親 名 職員・実習生・Vr 3名 その他() 名	プリムローズにてアスレチックを楽しんだあと、みつばちに帰り、職員が作った焼きそばを提供、皆で食べた。プリムローズでは、体の動かし方や他者との接し方、場面の切り替えなどの各子どもの動きを観察できた。怪我・トラブルなど安全に帰宅できた。また昼食場面では、おかわりも良くて皆で楽しく食べることができた。
費用: 3,807 円	

中高生クッキング	集会	令和 7年 3月 23日 (日) 10時 0分 ~ 13時 0分	場所: みつばち
参加者数:	幼児 1名 小学生 1名 中高生 1名 母親 1名 職員・実習生・Vr 1名 その他() 名	中学生4名で実施予定だったが、当日不参加となり、職員子どものマンツーマンで実施。ミールキッドを使い、中学生でも安全・簡単に作れる料理を行った。IH、ホットプレート、電子レンジを活用し、火は使わずに安全面の確保をした。普段から調理はしない子であるため、切る作業などはぎこちなさが感じられたが、良い経験にはなったと感じられた。	
費用:	4,642 円		

9. 職員研修・各種委員会

(1) 職員研修

利用者の多様なニーズに対応し、質の高い支援サービスを効果的・効率的に提供するため、様々な研修機会を活用し、職員の資質向上を図った。

A. 施設内会議

職員会議(毎月の共有・伝達会議)
自立支援会議(毎月の進捗状況確認)

B. 施設内研修

10月 講義「母子生活支援施設と子どもアドボカシー」
(講師 NPO 法人子どもアドボカシーをすすめる会 Tokyo)

C. 施設間職員交流研修

6月 視察 ルフレ八尾 (職員 4名)
7月 全国研究協議会 (職員 2名)
7月 関東ブロック母子生活支援施設協議会(職員 3名)
9月 中国四国ブロック母子生活支援施設研究会 (職員 1名)
10月 関ブロ児童養護施設職員研修 (職員 2名)
10月 県外視察研修(慈愛寮) (職員 4名)
12月 職員相互派遣研修 (職員 2名)
2月 実務者研修 (職員 3名)

D. 専門研修・キャリアアップ研修

4月 労務管理者研修～基礎～(職員 1名)
5月 はじめての仕事研修～学生から社会人へのワンステップ～ (職員 1名)
6月 JUMP-JAM スタッフトレーニング (職員 1名)
6月 あんしんセーフティ連絡協議会 (職員 1名)
7月 初任者キャリアパス研修 (職員 1名)
7月 安心セーフティーネットブロック会議 (職員 1名)
7月 家族造形法を活用した事例研究会 (職員 1名)

- 9月 BCP 動画視聴（職員 1 名）
- 9月 心理的安全性のあるチームのつくりかた研修（職員 1 名）
- 9月 ふれあい親子支援事業「事例検討会」（職員 2 名）
- 9月 子育て短期事業の推進事業研修(職員 2 名)
- 10月 児童虐待防止支援研修会(職員 2 名)
- 10月 ファミリーソーシャルワーク研修（職員 1 名）
- 10月 ヤングケアラー研修（職員 1 名）
- 10月 虐待防止研修(職員 1 名)
- 11月 子どもの虹研修情報センター(職員 2 名)
- 12月 依存症基礎研修（職員 3 名）
- 1月 初めて福祉仕事 研修（職員 1 名）
- 2月 初任者フォローアップ研修（職員 1 名）

(2)各種委員会

多様なニーズに質の高い支援サービスを効果・効率的に提供する為、ネットワーク構築を図った。

A. 母子生活支援施設協議会関係

- 埼玉県母子生活支援施設協議会 支援運営向上委員会(基幹的職員1名・少年指導員1名)
- 埼玉県母子生活支援施設協議会 施設長会議(施設長)
- 全国母子生活支援施設協議会 役員会(施設長)

B. 地域団体委員会等

- 埼玉県母子生活支援施設協議会 会長
- 関東ブロック母子生活支援施設協議会 副会長
- 戸田市社会福祉法人連絡会 副会長
- 関東ブロック母子生活支援施設協議会 選挙対策委員
- 全国母子生活支援施設協議会 協議員・総務委員
- 埼玉県ドメスティック・バイオレンス対策関係機関 構成委員
- 埼玉県DV被害者支援計画策定委員会 種別代表委員
- 埼玉県災害福祉支援ネットワーク設置 運営委員
- 埼玉県社会福祉施設種別協議会 協議員
- 埼玉県社会福祉大会 選考委員
- 埼玉県社会福祉連絡協議会 協議員
- 社会福祉法人わかさ会 評議員選任・解任委員
- 社会福祉法人による社会貢献活動 運営委員
- 蕨市地域自立支援協議会 協議員
- 戸田市要保護児童対策委員 会員
- 戸田ライオンズクラブ 理事

戸田市スキー連盟 理事
 戸田市社会福祉協議会 評議員
 埼玉県社会福祉協議会 評議員
 埼玉県共同募金会戸田市支会 評議員
 埼玉県社会福祉共助会 監事
 社会福祉法人普門会 監事
 社会福祉法人由慎会 理事

10. 視察関係

(1) 視察実施場所及び参加職員数

視察実施年月日	視 察 場 所	参加職員数
R6. 5.17	ルフレ八尾	4 名
10.23	慈愛寮	3 名

(2) 視察に来荘した機関名及び人数

視察来荘年月日	機 関 名	視 察 人 数
R6. 4.16	中野区役所職員	5名
5.7	早稲田大学院	7名(教授・学生)
5.23	大正大学	3名(専任講師・学生)
5.30	東京成徳大学院	2名(教授)
6.27	大正大学	1名(専任講師)
7.7	駒澤大学	16名(専任講師・学生)
8.23	高千穂大学	5名(教授・学生)
8.28	大正大学	9名(専任講師・学生)
8.29	東京成徳大学院	3名(教授・学生)
9.11	東京成徳大学院	6名(学生)

11. 外部への講師派遣

むつみ荘及び母子生活支援施設の役割と機能を広報する目的と、職員の資質を活用し、教育指導を担うものとして、外部団体及び学校等からの講師依頼に対して、今年度においても、下記の通り職員を派遣した。

実 施 日	場 所	内 容	派遣職員
R6.11.30	戸田市社会福祉協議会	精神保健ボランティア養成講座	基幹的職員

12. 防災訓練・防犯訓練

火災・台風・水害に備え、通報・防火防災・避難訓練を行った。消火訓練は、母を主軸に実施しつつ、小中高生にも実施するなど臨機応変に実施できた。また、地域の防災情報を得る目的で、母子会主催の防災講座に参加でき有意義だった。加えて、全国的に災害の多い現状において、炊き出し訓練を実施した。利用者の意識を高く保った訓練ができたものと思われる。反省を活かし、今後も継続して訓練したい。

① 防災訓練

実施予定	訓練概要	摘要
4月10日	担当者会議	防災訓練の目的を担当者で話し合い、年間計画の実行案を整理し、担当職員の役割分担を行った。
4月14日	図上訓練	職員用の防災マニュアルの読み合わせを行い、緊急時の対応の周知徹底を行った。
4月27日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
5月31日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
6月26日	消防設備保守点検 (駒崎商会)	災害時に備え、業者による消防設備に伴う一連の点検実施
6月2日	母子会防災講座	母子会主催の防災講座に出席し、主に水害・地震についての対策を伺った。
6月28日	水害訓練	職員を対象に、上記の防災講座の内容を周知した。
6月29日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
7月11日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
7月18日	地震対策レクチャー	母親を対象に、6月の母子会防災講座で聞いた水害対策について説明した。(母親懇談会にて)
8月11日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
9月17日	消火訓練	小学生を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
10月6日	地域デジタル防災訓練	職員が戸田市主催のデジタル訓練に参加し、地域活動の一環も含めた防災訓練を行った
10月20日	火災避難・消火訓練・ 防災備品確認	火災を想定し、館内放送と居室からの避難、また消防署から水消火器を借り、実施訓練を行った。その後、防災備品の確認・防災食の実食体験を行う。
11月29日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
12月9日	消防設備保守点検 (駒崎商会)	災害時に備え、業者による消防設備に伴う一連の点検実施
12月20日	地震対策レクチャー	母親を対象に、居室内の地震対策について確認・説明をした。(母親懇談会にて)
12月20日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
1月29日	消火訓練	中学生を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
2月28日	消火訓練	母親を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
3月22日	防犯防災対策レクチャー	母親を対象に、施設内の防災・防犯対策について確認・説明をした。(母親懇談会にて)
3月23日	消火訓練	中学生を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認を行う。不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認する。

種別	火災	地震	水害	その他	延べ訓練回数
	15	4	4	6	

対象	担当者	職員	母親	児童	延べ対象回数
	1	7	14	3	

* 計画外だが、6月に母子会主催の防災講座に参加。

* 9月に実施予定だった地域防災訓練は、10月の地域デジタル防災訓練として実施。

* 1月に連絡訓練を予定していたが、連絡網ツールの変更期間と重なったため不実施。

② 防犯訓練

【防犯・不審者対応研修】

6月 実地訓練・机上訓

13. 保健衛生環境整備

集団生活である施設において、清潔さの維持や利用者の健康状況を把握することで、集団感染や病気等を未然に防ぐことができる。今年度も、保健・衛生環境整備のため、毎月各居室の点検や年2回の定期健康診断などを行った。以下、表参照のこと。

実施時期	実施項目	実施概要
5月	害虫駆除 (殺虫剤配布)	利用者世帯にゴキブリキャップを配布 その他、施設内の静養室・集会室・3階キッチン・洗濯室・ショートステイ室にゴキブリキャップを配置
10月	インフルエンザ予防接種 (職員)	第二複合施設内にてなかに整形外科医師によりインフルエンザ予防接種を受けた(職員11名)
定期的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の清掃 ・年末大掃除(居室・館内) ・各階廊下の清掃 ・館内(居室含む)の排管清掃 ・定期健康診断(入所者) ・救急用品等の設置管理 ・熱中症対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月初めに、各居室の水周りを中心に掃除や整理整頓具合を点検。必要に応じて助言や清掃手伝いを行った。館内年末大掃除と居室の排管清掃は、業者に依頼した ・定期健康診断は日程調整を行い、世帯ごとに嘱託医にて受診した(年2回) ・行事や緊急時に使用できるように、救急用品を常備、静養室に設置し管理した ・屋内外行事の熱中症に対応できるように冷却剤等用品を準備した
毎日行うもの	<ul style="list-style-type: none"> ・各居室の衛生環境整備に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターに依頼し、階段など共有スペースや玄関周り、玄関前道路、駐車場の清掃を平日に実施した ・土日は、上記箇所を職員が清掃をした ・各階利用者の当番制で共有廊下の清掃(モップ掛け)を毎日行った

【感染症対策】

- ・玄関、事務所前、集会室にアルコール消毒液を設置
- ・事務所、集会室に除菌空気清浄機を設置し年中稼働させた
- ・感染症が発生した場合に必要な物品の確保
- ・感染症流行時には掲示をして利用者に周知、集会は感染拡大防止のため中止もしくは形式を変更して実施した

14. 寄附及び招待事業受入

当年度もたくさんのご寄付・ご招待をいただいた。紙面を借りて深く感謝申しあげたい。

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
1	4月8日	株式会社 日吉様	安納芋5箱、セリ1箱、ほうれん草1箱、剥き玉ねぎ2箱 箱入り舞茸10箱
2	4月15日		アスパラ、セリ、フキノトウ、ズッキーニ、長芋、菜の花
3	5月13日		バナナ2箱、かぶ、皮むき玉ねぎ、わさび菜、ラディッシュ、小ネギ
4	5月20日		小玉ねぎ、じゃがいも箱入り多数
5	5月27日		カブ1箱、ズッキーニ1箱半、玉ねぎ1箱半、今日ナス1箱、パプリカ1箱
6	6月3日		パプリカ1箱、ズッキーニ1箱、玉ねぎ1箱、アスパラ1箱、パイン2箱
7	6月10日		ぶどう5パック、剥き玉ねぎ1箱、リーフレタス2箱、パプリカ1箱、アスパラ、水菜、わさび菜
8	6月17日		メロン・バナナ・アスパラ・パプリカ・わさび菜・玉ねぎ・ブロッコリー
9	6月24日		パプリカ、玉ねぎ、長ナス、丸ナス、バナナ、カブ
10	7月1日		アスパラ・パプリカ・万能ねぎ・玉ねぎ
11	7月8日		とうきび、玉ねぎ、小口ネギ、万能ねぎ
12	7月16日		ほうれん草4箱、パプリカ2箱、剥き玉ねぎ2箱、かぶ1箱
13	7月29日		さつま芋3箱、ごぼう3箱、枝豆1箱、ジャガイモ2箱、かぶ、茄子2024/7/29
14	8月5日		バナナ2箱・白なす1箱・かぶ1束・アスパラ1箱・トウモロコシ1箱・パプリカ1箱・にら13束・モロコインゲン1箱
15	8月19日		バナナ、水菜、サンチュ、枝豆、ナス、わさび菜、じゃがいも、かぶ
16	8月26日		とうもろこし2箱、剥き玉ねぎ1箱、丸なす(大1箱、小6個)、パプリカ1箱、かぶ1箱、アスパラ1箱
17	9月2日		パインアップル3箱、玉ねぎ1箱、かぶ1箱、じゃがいも1箱
18	9月9日		じゃがいも、パプリカ、かぶ、アスパラ、ゴーヤ、玉ねぎ、枝豆
19	10月7日		バナナ、キウイ、ブロッコリー、オクラ、トウモロコシ、ナス、かぶ、むき玉ねぎ、パプリカ、枝豆、アスパラガス
20	10月21日		キウイ、苺、カリフラワー、ズッキーニ、茄子、オクラ、とうもろこし、カブ、パプリカ
21	11月11日		玉ネギ、サツマイモ、カブ、枝豆、バナナ
22	11月18日		さつま芋、玉ねぎ、パプリカ
23	12月2日		サツマイモ1箱、ジャガイモ2箱、アスパラ15本、オクラ8袋、パインアップル5箱、パプリカ25個
24	12月9日		バナナ、ジャガイモ、小松菜、玉ねぎ、にんじん、まいたけ
25	12月16日		ほうれんそう、バナナ、かぶ、アスパラ、ズッキーニ、ラディッシュ、さつまいも、きのこ
26	12月23日		カリフラワー、大根、にら、さつまいも、小松菜、パプリカ
27	12月28日		生蕎麦20パック、さつまいも

28	1月20日		バナナ、トマト、ごぼう、パプリカほか
29	1月27日		エリンギ、パプリカ、バナナ、アスパラ、長ネギ
30	2月3日		さつまいも・かぶ・ラディッシュ・ハツ頭・カリフラワー・パプリカ ・アスパラ・マイクロリーフ
31	2月10日		ピーマン、パプリカ、まいたけ、ラディッシュ、かぶ、オクラ、パインナップル、アスパラ
32	2月17日		パプリカ、ラディッシュ、かぶ、じゃがいも、玉ねぎ、なめこ、アスパラ
33	2月25日		アスパラ、パプリカ。バナナ、いちご、パインナップル、玉ねぎ。サツマイモ、
34	3月3日		カブ、アスパラ、玉ねぎ、しいたけ、ラディッシュ、パプリカ
35	3月10日		株、イチゴ、キャベツ、九条ねぎ、バナナ他
36	3月17日		パプリカ、玉ねぎ、小松菜、にんじん、もやし
37	3月24日		カブ、アスパラ、しいたけ、ラディッシュ、パプリカ、メロン、キウイ、アボガド、ピーマン、もやし
38	3月31日		ニンジン・タアサイ・ピーマン・アスパラ・株取りなめこ・水菜・ズッキーニ・ほうれん草・パインナップル・いちご
39	6月10日	株式会社 クラシカルエルフ様	春夏衣類、サンダル、バック11箱
40	7月5日		春夏衣類、サンダル、帽子、バック11箱
41	7月26日		晴雨兼用折りたたみ傘50本
42	9月3日		衣類7箱
43	10月18日		冬衣類10箱
44	4月15日	株式会社明治乳業様	明治R1 288本(12本入り×24箱) アンパンマンの野菜とリンゴ108本(3本入り×36パック)
45	10月4日		R1カップ80個、ブルガリアヨーグルト48個、のむヨーグルト(ボトル大)40個、のむヨーグルト(ボトル小)72個、カマンブルーチーズ54個
46	4月16日	株式会社セカンドハーベストジャパン様	お菓子、飲料他
47	5月14日		カレー・防災食他
48	4月20日	株式会社ニチレイ様	和風野菜、蒸し鶏ほぐし身、なすはさみ揚げ、炭火焼きぼんじり
49	5月18日		3種のサラダ、中華丼の具、白身魚のすり身フライ、鶏もも龍田揚げ、チキンナゲット、グリーンアスパラ、冷凍キュウリ輪切り
50	6月15日		ピーマン肉詰め、蒸し鶏ほぐし身、香ばししょうゆ唐揚げ、じゃがいも乱切りアスパラ斜め切り
51	8月17日		なすはさみ揚げ、梅しそさっぱりささみ焼き、竜田揚げ、ブロッコリー
52	9月21日		アスパラ香ばし揚げ、中華丼具、鶏もも肉の熟成照り焼き、からあげ、刻みオクラ
53	10月19日		乱切り里芋、白身魚フライ、ピーマン肉詰め、チキンナゲット、枝豆
54	11月15日		香ばししょうゆ唐揚げ刻みホウレンソウ、そのまま揚げなす
55	12月20日		若鶏竜田揚げ・お肉ジュシーピーマン肉詰め・だし香るしいたけ肉詰め天・3種サラダ・そのまま使えるブロッコリー
56	2月15日		イカリングフライ・白身魚のすり身フライ・鶏ザンギ・チキンステーキ・和風野菜
57	3月15日		お肉たっぷりなすささみ揚げ・若鶏しょうゆ香り揚げ・チキン南蛮

58	4月5日	戸田市商工会理事 福田 政文様	バナナ1箱
59	4月11日	戸田市商工会理事 福田 政文様	ニンジン1箱・玉ねぎ1箱
60	4月11日	戸田市商工会理事 福田 政文様	人参・もやしなど
61	4月26日	戸田市商工会理事 福田 政文様	ごぼう・もやし・まいたけなど
62	5月8日	戸田市商工会理事 福田 政文様	キャベツ8玉・人参7本・玉ねぎ7玉
63	5月17日	戸田市商工会理事 福田 政文様	玄米・えのき8袋・油揚げ2袋・みかん2袋・スナップエンドウ
64	5月24日	戸田市商工会理事 福田 政文様	トマト、ほうれん草、レタス、そらまめ他
65	6月14日	戸田市商工会理事 福田 政文様	キャベツ1玉、玉ねぎ3個、さつま芋1本、ジャガイモ3個、豆腐8個、もやし(4kg)
66	6月21日	戸田市商工会理事 福田 政文様	キャベツ、玉ねぎ、人参、パプリカ、ピーマン、もやし、ネギ、きゅうり、ブロッコリ、ズッキーニ、玉ねぎ、トマト
67	6月28日	戸田市商工会理事 福田 政文様	玉ねぎ4個、パプリカ7個、ブロッコリ3個、大根2本、木綿豆腐11丁、青梗菜とほうれん草各1袋、小松菜2袋
68	7月5日	戸田市商工会理事 福田 政文様	大根、ぶどう、えのき、インゲン、小松菜、トマト、キュウリ、パプリカ、もやし、キャベツ、ブロッコリ、ネーブル、エリンギ、茄子
69	7月12日	戸田市商工会理事 福田 政文様	とうもろこし1箱+4本・豆腐8丁・油揚げ2袋・きゅうり8本・ パセリ2袋・しめじ3袋・茄子3本・オクラ8ネット
70	7月18日	諸井 江美様	緑茶2缶、缶ジュース12本、QBBチーズ25袋、ゼリー3箱(31個)中華麺2箱
71	7月19日	戸田市商工会理事 福田 政文様	人参、玉ねぎ、大根、白菜、トマト、エリンギ、もやし、オクラ、パプリカ、キャベツ、バナナ、えのき、スナップエンドウ
72	7月22日	アセットアドバイザー安食様	クッキー、焼き菓子、ゴーフレット、ラスク各1箱、ゼリー、えびせん各2箱
73	7月22日	戸田市商工会理事 福田 政文様	平茸、インゲン、枝豆、パインナッブル、とうもろこし、パプリカ、エシャロット、アスパラガス
74	7月26日	戸田市商工会理事 福田 政文様	桃1箱(16個)
75	7月26日	戸田市商工会理事 福田 政文様	梨1箱(14個)
76	8月9日	戸田市商工会理事 福田 政文様	トマト、ほうれん草、レタス、枝豆、もやし、ペピーコーン、ごぼう、小松菜、大根、ブロッコリー、キャベツ
77	8月16日	戸田市商工会理事 福田 政文様	油揚げ・豆腐・サツマイモ・じゃがいも・玉ねぎ・きゅうり・人参・かぼちゃ
78	8月23日	戸田市商工会理事 福田 政文様	大根、キャベツ、ブロッコリー、レタス、トマト、しめじ、ナス、 サツマイモ、梨
79	8月30日	戸田市商工会理事 福田 政文様	メロン3L 5玉
80	9月3日	戸田市商工会理事 福田 政文様	人参13本、キャベツ1玉(大)、オクラ2袋(5本入り)、白たき4袋、厚揚げ(本日消費期限)7つ。
81	9月6日	戸田市商工会理事 福田 政文様	白菜、なす、ごぼう、キャベツ、大根、しめじ、ほうれん草、トマト、大根、ズッキーニ
82	9月13日	戸田市商工会理事 福田 政文様	梨1箱(24個)
83	9月17日	戸田市商工会理事 福田 政文様	キャベツ(4個)、大根(1本)、ジャガイモ(3個)、 人参(35本)油揚げ(10個)
84	9月20日	戸田市商工会理事 福田 政文様	キャベツ、ごぼう、えのき、しめじ、ミニトマト、もやし、大根、 人参、ほうれん草、ペピーコーン
85	9月27日	戸田市商工会理事 福田 政文様	人参、玉ねぎ
86	10月4日	戸田市商工会理事 福田 政文様	白菜、キュウリ、もやし、トマト、ミニトマト、ニンジン、さつまいも、いんげん、しめじ、なめこ、まいたけ、えのき、 レタス
87	12月12日	アセットアドバイザー安食様	みかん1箱

88	1月23日	諸井 江美様	お菓子4箱、果物12個
89	4月4日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ・サラダ・コーンパン他 15個
90	4月12日		サンドイッチ・サラダ・コーンパン他 10個
91	5月1日		サンドイッチ・サラダ・コーンパン他 14個
92	5月8日		アンドーナッツ、コロケパン他16個
93	5月9日		サンドイッチ、コロケパン他17個
94	5月24日		サンドイッチ、コロケパン他12個
95	5月28日		サラダ他12個
96	6月11日		サンドイッチ他15個
97	6月12日		サンドイッチ、スティックパン、サラダ等16個
98	6月18日		サンドイッチ、サンドイッチ等17個
99	6月24日		ガーリックパン、スティックパン、ハンバーガー等17個
100	6月28日		アンドーナッツ、ガーリックパン等15個
101	7月5日		サンドイッチ、スティックパン、サラダ等28個
102	7月9日		サンドイッチ、スティックパン、サラダ等15個
103	8月15日		サンドイッチ、スティックパン、サラダ等16個
104	9月3日		サンドイッチ、スティックパン、サラダ等13個
105	10月2日		サンドイッチ・揚げパン・サラダ・コーンパン・ジャガイモのパン
106	10月15日		サンドイッチ・サラダ他
107	10月23日		アンドーナッツ・サンドイッチ他
108	10月24日		アンドーナッツ・サンドイッチ他
109	11月13日		サンドイッチ・サラダ他
110	11月14日		サンドイッチ・サラダ他
111	12月16日		サンドイッチ・サラダ他
112	12月25日		クリスマスパン・サラダ他
113	2月14日		サンドイッチ・アンドーナッツ他
114	3月3日		サンドイッチ・サラダ他
115		その他・団体	
116	4月11日	北戸田イオン	絵本・幼児玩具・収納ボックス等
117	4月20日	コスメバンクプロジェクト 一般社団法人バンクフォースマイルズ	化粧品等詰め合わせ25パック

118	5月24日	坂口久身江(子ども支援ボランティアグループ かすみ草)	トートバックと文具(男児向け5、女児向け5)
119	7月14日	坂口久身江(子ども支援ボランティアグループ かすみ草)	ミニトートバックと文具20セット
120	8月23日	株)コープクリーン	セフター漂白剤入り900g×8個×5箱 柔軟剤1400g×6個×7箱
121	8月28日	一般財団法人miraie	アイスケーキホワイト(4個入×6)×2箱、アイスケーキブラウン(4個入×6)×2箱
122	11月21日	生協連	玄米25キロ×5袋
123	11月22日	ロクシタン	Xmasギフト40パック
124	11月28日	坂口久身江(子ども支援ボランティアグループ かすみ草)	年長児、小学生、中学生へのクリスマスプレゼント(19名)
125	11月29日	株)コープクリーン	酸素系漂白剤1箱、詰め替え2箱、キッチンマイルド2箱
126	12月11日	ドミノ・ピザ(戸田笹目店)	じゃがマヨbent8個、マルガリータbent26個
127	12月9日	かすみ草	キーストラップアクセサリ20個
128	3月19日	株)コープクリーン	Kソフト詰め替え用1500ml×12個

15. 母親懇談会

母親懇談会は、職員からの連絡事項を伝え、利用者からの要望や意見を聞く会合である。生活環境改善や子育てについての意見交換をする機会ともなっている。また防災についても情報提供し、利用者からの意見も聞くこともできた。小中学生行事・学習会などについて伝える機会としても活用した。

実施日	出席者数	No.	議 題	保 育
第 119 回 R6 年 7月18日(木) ＜資料＞防災情報・夏休みの過ごし方	母親 10 人 職員 4 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9	新しい利用者さんの紹介 施設行事について 地域の行事 夜間対応について 実習生の受け入れについて ゴミ出しについて 防災・防犯情報 その他 アンケート結果	5 人 —— 職員 2 人
第 120 R6 年 12月20日(金) ＜資料＞防災情報・冬休みの過ごし方・クリスマスアンケート結果	母親 7 人 職員 4 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	届出用紙のお願い 事務所の職員体制について 年末大掃除(12月の居室点検) 荘内配管清掃について 実習生について みんなの行事 サンプロジェクトについて ゴミの分別について 玄関暗証番号について みつばち利用について 日頃からできる防災について アンケート結果報告	7 人 —— 職員 2 人

第121回 R6年 3月21日(金) <資料>春休みの 過ごし方	母親 8人 職員 2人	1 2 3 4 5 6 7 8 9	共益費と積立金について 外出、外泊、宿泊、来客について 防犯・防災について 学校・保育園について 令和7年度年間行事について 要望等解決委員会 職員異動について 玄関暗証番号変更 アンケート結果報告	7人 —— 職員1人 実習生1名
計 3回				

16. 実習受入状況

福祉人財及び後進の育成という社会的責務を担い実践するべく、コロナ禍の今年度においても、大学院、大学、短大及び各養成校から実習生の受入を行った。実習期間は資格によって異なり、保育士は1日8時間を10日間～12日間、社会福祉士は1日8時間を8日間～1か月、公認心理師は1日2～4時間を約1日～20日間程度で受入れ期間を設けた(日曜祝日は実習期間に含まず)。

① 保育士実習

令和6年度の保育実習は、7校7名が実施となった。またオリエンテーションは実施したが、実習に向かえる状態ではないとの学校の判断による辞退者が1名いた。養成校からの依頼は15校19名あったが、8校12名はお断りとなった。その背景には、実習希望期間が重なったり、当施設は、社会福祉士や公認心理師の資格取得のための実習受け入れもしており、同時期に複数名の受け入れをすることは難しいことがある。上記のような状況はあるものの、保育士として資格を取得するために必要とされる実習については、可能な限り養成校とも調整をして今後も受け入れを柔軟にしていきたいと考える。

② 社会福祉士実習

令和6年度の社会福祉士実習は、2校2名が実施となった。また他に4校の受け入れ予定はあったが、該当者がいないため辞退となっている。

③ 公認心理師実習

公認心理師実習は、母子生活支援施設とその関連事業について、心理職を目指す大学生・大学院生に周知するよい機会となっている。本年度は、年間を通じた継続実習生の受け入れを3校から行った。例年通り、学習支援センターを中心に、トワイライトステイにも参加した。また見学実習を4校より延べ37名を受け入れた。同時期に複数の実習生を受け入れる場合、児童数との調整が必要であるため、養成校との調整を密に行い、実習生やその指導者を通じて大学での専門的な知識を現場に取り入れる契機としたい。

【令和6年度 実習生受入状況】

開始	実習期間		養成校名	取得資格名
	開始開始～終了終了	【日数換算】	学校名	区分
令和6年	4月1日(月)～5月1日(水)	【23日間】	日本福祉教育専門学校	社会福祉士
	5月2日(木)～8月29日(木)	【18日間】	東京成徳大学院	公認心理師
	5月7日(火)～7月23日(火)	【4日間】	早稲田大学院	公認心理師
	5月9日(木)～12月28日(土)	【32日間】	早稲田大学院	公認心理師
	5月13日(月)～9月28日(土)	【27日間】	早稲田大学院	公認心理師
	5月14日(火)～3月25日(火)	【33日間】	早稲田大学院	公認心理師
	5月14日(火)～9月24日(火)	【39日間】	大正大学	公認心理師
	5月16日(木)～9月26日(木)	【41日間】	大正大学	公認心理師
	6月1日(土)～2月22日(土)	【17日間】	早稲田大学院	公認心理師
	6月17日(月)～6月29日(土)	【12日間】	浦和大学	保育士
	6月18日(火)～2月27日(木)	【16日間】	早稲田大学院	公認心理師
	8月5日(月)～8月22日(木)	【12日間】	文京学院大学	保育士
	8月19日(月)～8月30日(金)	【11日間】	秋草学園短期大学	保育士
	9月3日(火)～3月25日(火)	【27日間】	東京成徳大学院	公認心理師
	9月5日(木)～3月13日(木)	【27日間】	東京成徳大学院	公認心理師
	10月1日(火)～1月28日(火)	【32日間】	大正大学	公認心理師
	10月3日(木)～1月30日(木)	【23日間】	大正大学	公認心理師
	10月3日(木)～3月13日(木)	【7日間】	東京成徳大学	公認心理師
	10月10日(木)～1月30日(木)	【15日間】	早稲田大学院	公認心理師
	10月12日(土)～11月12日(火)	【2日間】	早稲田大学院	公認心理師
10月15日(火)～10月23日(水)	【8日間】	上智大学	社会福祉士	
10月21日(月)～2月25日(火)	【9日間】	早稲田大学院	公認心理師	
令和7年	1月20日(月)～2月1日(土)	【12日間】	東京家政大学	保育士
	2月10日(月)～2月21日(金)	【10日間】	埼玉県立大学	保育士
	2月24日(月)～3月8日(土)	【12日間】	川口短期大学	保育士
	3月10日(月)～3月22日(土)	【11日間】	日本児童教育専門学校	保育士

保育士 7名
 社会福祉士 2名
 公認心理師 17名(院生:12名、学部生:5名)

実習生延べ	26名
-------	-----

17. 利用問合せ状況

母子生活支援施設利用希望者及び福祉事務所等関係機関からの問い合わせについて、集計した。なお、当事者からの直接の相談には、施設利用の仕方から窓口の紹介まで丁寧に対応し、他の相談機関につながりやすくなるよう配慮した。

受付日時	受付日時	問合せ種別	世帯種別	児童種別	補足
令和6年	4月11日(木)	空室	既婚・DV	妊婦・小1	シェルター利用中
	5月1日(水)	入所問合せ	不明	子ども一人	外国籍
	5月17日(金)	空室	DV	高1・小5・小4	特別支援学校在籍
	5月20日(月)	空室	妊婦	不明	パートナー病気、無職
	5月22日(水)	空室	未離婚	不明	別居事実あり
	5月24日(金)	広域・入所問い合わせ	不明	不明	本人から問合せ
	5月27日(月)	空室	不明	不明	母子の緊急利用
	5月27日(月)	空室	DV	不明	
	5月29日(水)	空室・見学	既婚		他施設使用中
	5月29日(水)	空室	不明	不明	シェルター利用中
	6月6日(木)	空室	不明	不明	
	6月6日(木)	空室	DV	小3	外国籍
	6月10日(月)	広域・入所問い合わせ	不明	不明	本人から問合せ
	6月12日(水)	空室	DV	乳児幼児各1名	都内希望で見学なし
	6月12日(水)	空室	DV	乳児幼児各1名	身体的DV
	6月14日(金)	空室	不明	高校生2名	追跡の可能性あり
	6月18日(火)	空室・広域	DV	幼児	知人からのDVの可能性
	7月3日(水)	空室・入所・広域	DV	幼児3歳	入所検討あり
	7月19日(金)	空室・広域	DV	幼児2名	他母子施設入所、外国籍
	7月31日(水)	空室	DV	不明	措置元へ使用の仕方について
	7月31日(水)	空室	DV	乳児	追求者、暴力団関係
	8月13日(火)	空室	DV	不明	緊急一時保護利用問合せ
	9月11日(水)	空室	不明	不明	
	9月26日(木)	空室	虐待、障害	中1	
	9月30日(月)	空室	DV	幼児3名、小3	
	10月7日(月)	空室	DV	乳児	
	10月10日(木)	空室	不明	乳児	パートナー服役中
	10月29日(火)	空室	DV	不明	
	10月29日(火)	空室	DV	乳児	
	10月31日(木)	空室	DV・離婚	中一	生活保護利用無
11月21日(木)	空室・広域	妊婦	妊婦		
11月25日(月)	空室・広域・入所	DV	乳児		
12月4日(水)	空室	不明	不明		
12月24日(火)	空室	DV・避難	小学生		
12月27日(金)	空室	不明	幼児		
令和7年	1月8日(水)	空室	避難	小学生2名	
	1月16日(木)	空室	不明	不明	外国籍

延べ問合せ件数

42 件

(一部集計)

DV 22 件
 入所手続き 0 件
 妊婦 2 件

18. 地域交流及び協力実績報告

「子育て支援・経済的困窮者支援・災害派遣等」については、施設の持っている機能を活用することを考え、関係機関等と連携を図り地域に貢献できる施設作りを促進している。

実施月	名称・団体名	内 容	備 考
通年	子ども110番の家	小学生等下校途中の児童のトイレ利用に施設を開放	
	戸田ライオンズクラブ	奉仕活動及び連携	
R6. 5. 13	共助会監査		
16	戸田市児童福祉審議会		
27	共助会役員会		
6. 11	社会貢献運営委員会		
14	県社協役員会		
20	市社協役員会		
25	共助会総会		
28	(福)普門会監査		
8. 9	県福祉大会運営委員会		
9. 10	共助会役員会		
10. 31	県福祉大会		
11. 22	社会貢献10周年記念式典		
27	県社協役員会		
12. 16	共助会役員会		
R7. 1. 10	戸田市賀詞交歓会		
30	埼玉県賀詞交歓会		
3. 3	社会貢献運営委員会		
17	共助会役員会		
21	埼玉県女性連携会議		
25	市社協役員会		
26	県社協役員会		

19. 事故報告・苦情解決

事故への適切な対応と改善は、利用者の安心安全のためには重要である。また、利用者や近隣から、むつみ荘の取り組みに対して、さまざまな意見を頂ける機会と前向きに捉えたい。むつみ荘では、母向けの要望箱、子ども相談箱、母親懇談会、苦情要望解決委員、第三者委員などを通じて、忌憚のない意見を表明しやすい場の確保を目指している。今年度も年3回開催する母親懇談会の前に、臨時要望箱を事務所に設置し、母親懇談会の場で質問や要望に応えている。重大事案のおそれがある事案が7件あり、県に報告を行った。半期ごと今後の事故防止や対策強化の為、事故報告等検討会議を行った。

【苦情解決】

母 1 件 「施設内環境(施設整備)」

子 0 件

【重大事案のおそれのある事案(県報告)】

人身 2 件 「無断外泊」「子の暴力行為」

物損 5 件 「施設内 TV 破損」「児童の外傷」「家庭内トラブル」「服薬ミス」「ごみ投げ」

【事故分析】

R6年 5/22 R5年度 第2回事故等検討会 開催

R6年 11/21 R6年度 第1回事故等検討会 開催

3. 第二種社会福祉事業 むつみ荘児童一時預かり事業

(一時預かり保育室たんぽぽルーム)

令和6年度 事業報告

たんぽぽルームでは一時的に家庭での保育が困難な地域家庭に対し、未就学児一時預かり保育を行った。

① 利用事由・登録面談

就労・通院・リフレッシュ・姉兄の学校・幼稚園行事への参加等が多く、幼稚園の休園時には母の就労支援のための長時間保育も行った。

② 登録面談

登録面談の際には、子どもの日頃の様子や食事・アレルギー・睡眠時の様子など細かく聞き取り、保護者が一時預かり保育について正しく理解していただいた上で利用していただけるよう心掛けた。

③ 保育

一人ひとり子どもの心身の状態や育ちをよく観察し、寄り添いながら年齢や発達に応じた保育を行った。子どもの興味や関心に共感し集中して取り組める環境設定を考慮し、子どもが安心して過ごせるように温かい雰囲気と優しい言葉がけを心掛けじっくり関わりながら保育した。

散歩を積極的に取り入れ自然に親しんだり体を動かして心身の開放感を楽しめるよう取り組んだ。また季節を感じられるような絵本の読み聞かせや製作を実施したり、図鑑を一緒に見て身近な事象の理解を深めた。

食事面では保護者の負担軽減を考慮し、希望者には保育園と同様の給食を実施した。

食事中の咀嚼、午睡時のブレスチェック、熱中症等安全面を十分に考慮し、家庭以外の生活リズムが体験できるよう配慮した。アレルギーや特性がある子どもを保育するときはその都度保護者にも配慮面の確認を細かく行い安全対策を徹底した。

④ 広報活動

前年度に引き続き市役所からの協力を得ながら、一時預かり保育事業周知のために公共施設へのチラシ配布や、保育士が子ども達と散歩へ出掛けた際に地域の保護者へチラシ配布を実施した。また市内保育園や近隣市幼稚園にもチラシ配布の協力をお願いした。前年度からの継続利用の方や新規登録者には子育て中の友人や知人にチラシを渡していただけるよう呼びかけを行った。ホームページを見ての問い合わせが多く、保育室が駅近くの利便性や利用条件の合致等の理由で近隣市在住の方の問い合わせや利用が増えた。今年度も緩やかながら新たな登録・利用に繋げる

ことができた。電話受付時や一時預かり保育登録へ訪れた保護者の相談に応じて、子ども達の発
育・発達の支援・ニーズに応じた保育を実施した。

⑤ 次年度に向けて

引き続き、安心・安全に配慮しながらより家庭に近い環境のなかで一時預かり保育ができるよ
う心掛けていきたい。

【利用実績】

区分	年 性	買い物・美容院等		傷病等での通院		苦い事 (自転車・パソコン)		就労 (一般的な仕事)		リフレッシュ		地域活動 (公民館活動等)		学校・幼稚園等の 公的行事への参加		その他		合計	
		人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間
1歳	男	1	2.5	1	2.5			2	11.5	9	48.0					1	5.5	14	70.0
	女			2	5.0											4	17.0	6	22.0
2歳	男			1	1.5									4	6.5			5	8.0
	女	2	11.0	13	41.5			2	12.5	1	6.5			1	5.0	4	17.0	23	93.5
3歳	男			1	2.5			4	26.5	2	8.0			2	2.0			9	39.0
	女			2	4.5			3	15.0	4	26.5							9	46.0
4歳	男							3	22.5									3	22.5
	女																		
5歳	男																		
	女																		
6歳	男																		
	女																		
学童	男																		
	女																		
合計		3	13.5	20	57.5	0	0.0	14	88.0	16	89.0	0	0.0	7	13.5	9	39.5	69	301.0

総合	69名
(延べ)	301時間

実人数	42名
-----	-----

4. 第二種社会福祉事業 子育て短期支援事業

令和6年度 事業報告

1. トワイライトステイ事業

小学1年生から6年生の児童を養育している家庭の保護者が、仕事等の理由に学童の迎えが間に合わない場合に、児童を午後5時から午後9時30分まで市が委託したむつみ会にて有料でお預かりする事業である。

今年度は市内の小学校6校13名の登録があり、学年としては1～6年生が利用した。特に3～6年生までの利用頻度が高い傾向にあった。主な利用理由は就労による残業。年間の利用人数は411人であった。利用頻度は、年数回の世帯もあれば、毎月利用予約のある世帯もあった。

今年度は4名の職員で日替わりにて保育を行なった。午後5時に迎えに出発し、ピックアップしたのち夕食の買い物をする。夕食購入は、子どもたち自身の選択を尊重しつつ金額の上限を伝え、食べきれないかも含めて考える促しを行った。施設に着いたら検温・手洗いをし、宿題の残りを済ませ、午後6時半を夕食とし、以降は遊んで保護者の迎えを待った。

『児童健康状況届』を用いて、保護者から聞き取れた児童の様子を把握し家庭に近い雰囲気を利用することが出来るよう配慮した。また、好き嫌い・既往歴・アレルギーなど個々の児童に関わる体調面等について常時確認ができるよう工夫し、安全に過ごせるよう整えた。

【利用実績】

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
戸田第一小学校	6		8	6	6	6	6	6	4	6	6	4	64
戸田第二小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新曽小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美谷本小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菅目小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18
戸田東小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
戸田南小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
喜沢小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菅目東小学校	8	5	5	5	0	6	6	6	5	6	6	4	62
新曽北小学校	20	16	20	23	25	22	24	20	26	25	19	21	261
美女木小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦原小学校	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計人数	36	21	33	34	31	34	36	13	35	41	31	47	411

小計	411	人
----	-----	---

2. ショートステイ事業

本事業は、戸田市及び川口市の子育て短期支援事業の一環として実施するものである。

利用要件： 3歳児～小学校6年生の子ども(特例として3歳未満児含む)かつ、保護者が下記の場合

- (1) 疾病・出産・けが等により入院・加療又は療養を要する場合
- (2) 出産・看病・事故・災害・失踪等家庭養育上の事由がある場合
- (3) 冠婚葬祭・出張・学校等の公的行事に出席等社会的な事由がある場合
- (4) 育児疲れ・慢性疾患児の看病疲れ・育児不安等の身体上又は精神上的の 事由がある場合
- (5) 就業のため、帰宅が夜間に及ぶ場合
- (6) 経済的問題等により緊急一時的に母子保護を必要とする場合
- (7) 市長が特に利用を必要と認めた場合

今年度は、9名(戸田市7世帯、8人 川口市1世帯1名)の利用があり、利用日は延べ26日であった。利用者はひとり親世帯が占めており、「母親の就業」(1世帯、戸田市1世帯、延べ2日)、「育児疲れ」(5世帯、5世帯はひとり親家庭、戸田市4世帯、川口市1世帯 延べ22日)、「きょうだいの入院の為、母親も入院」(1世帯、戸田市1世帯、延べ2日)であった。

今年度は高年児に加え低年齢児の利用もあり、不安感を強く抱きやすいため事前に母親自身の口から本事業の利用について子どもに説明をお願いしてきた。子どもは日常とは異なった環境下で緊張感が数日にわたり続き、大きな負担となっている様子が見られた。終了後、母親へ甘える姿が見られ、翌日に体調を崩し登校できない子どもの姿が見られた。一方で、数日利用したことにより登園時間が早やく、友人との交流が豊かになり、園生活が充実した子どももあり、通常とは異なった生活リズムを体験することで、子どもの成功体験となったケースも見られた。

母親は「育児疲れ」として利用しても子どもの想いは追いついていない現状も垣間見られた。福祉事務所にも子どもの様子は伝え情報の共有をおこなった。母親へも子どもの生活状況についてはお伝えし、母親自身が利用してみてどのように感じているかを聞き取った。利用ケースの「育児疲れ」については、当施設を退所した方や現在入所している方の利用が増えており、近くに親族がおらず頼る先が少ないことや、当施設でおこなっている事業なため職員が対応することもあり利用者児としては安心して利用できることも影響していると言える。一度利用されると、継続的に利用することも増えており、利用することで母親の日々の負担感は軽減される一方で、数日の環境の変化が及ぼす子どもへの負担は計り知れず、可能な限りその負担が小さく済むように母親からの聞き取りを丁寧に行い対応している。

また、今年度は川口市からの依頼が1世帯延べ6日あった。現状としては、川口市の利用については当施設までの保護者の送迎が必要なため利用に繋がりにくいことが考えられる。また、障害児の受け入れのある施設を利用する子どもも増えている。

受け入れ体制の面で考えると、有償ボランティアの活用をすすめている。初回利用の児童については職員が宿泊しアセスメントを行い、2回目以降の利用からボランティアに宿泊をお願いしている。ボランティアには急な依頼になるため、日程調整が難しい際は職員で日程の調整を行い可能な限り受け入れを実施した。今後も、ショートステイの有償ボランティア開拓をすすめていきたい。

今年度は他市の福祉事務所が来荘しショートステイ事業の見学、説明をおこない本事業の重要性の高さを感じた。様々な家庭背景のある児童の利用があると思われるが福祉事務所と連携を行い、臨機応変により支援が提供できる事業を行なっていきたい。

【利用実績】

保育理由	年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
入院・通院	3歳未満	男													0
		女													0
	3歳～5歳	男													0
		女													0
	小1～小3	男													0
		女													0
小4～小6	男									2				2	
	女													0	
家庭養育上の事由 (事故・災害等)		男													0
		女													0
社会的な事由 (冠婚葬祭等)		男													0
		女													0
育児疲れ		男	2	3			5	2	3	2			2	3	22
		女													0
就業		男	2												2
		女	2												2
緊急一時		男													0
		女													0
その他		男													0
		女													0
小計		男	4	3	0	0	5	2	3	2	0	0	2	3	24
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計			6	3	0	0	5	2	3	2	0	0	2	3	26

延べ	26名
----	-----

5. 第二種社会福祉事業 よつば保育園

令和6年度 事業報告

1. 総括

今年度、保育利用者状況について、0, 1, 2歳児は年間を通してほぼ定員を満たした在園時数を確保した。3, 4, 5歳児の定員は年間を通して各学年1, 2名ほどの空きがあった状態があった。在園児のほとんどは標準時間利用児であった。前年度から引き続き閉園時間ギリギリのスポット利用児もあり、遅くまで保育士配置の必要があった。また要保護児童対策地域協議会の支援を必要とする家庭も多く、保護者支援として関係機関との家庭状況の情報交換連絡を頻繁に行った。

今年度初めて、中学生の職場体験を受け入れ、職員にとっても保育活動の見直しや、職場の活性化にもつながる有意義な活動であることから、これからも活動も順次再開したいと考えている。

行事の見直しも行い、暫く休止していた誕生会の保護者参加も復活させ、保護者からは喜びの声が多く寄せられた。常々、子どもたちに様々な経験できるよう、保育園全体で、子どもの為の丁寧な保育を目指し行ってきた。

開園以来の保育理念に基づき、子ども達に対して一人ひとりの思いを大切に受けとめ保育することを心掛け、また保護者に対しては、信頼関係の構築に努め保育内容を丁寧に伝達し、子どもたちの育ちへの協働を図ってきた。

こうした状況においても当園の保育目標である

1. 心身すこやかな子ども
2. 豊かな感性や創造性をもった子ども
3. 自分で考え行動できる子ども
4. 思いやりのあるやさしい子ども

の4つの願いをもって、子どもたちの「個」の育ちと「集団」の育ちに目を向けながら、生活や発達の連続性を大切にした保育内容、あり方を意識しながら保育支援に取り組んできた。

令和7年4月

よつば保育園

園長 新妻 美優

2. 振り返り

(1) 保育の資質向上

- ・子どもひとり一人の感性を豊かに育み保てるよう、子どもの感じ方や考えを受容してきた。
- ・子どもに対して、一方的に保育者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、保育の中心は、子どもが主体であるという認識のもと、園生活を送りやすい環境を整えた。
- ・年齢の異なる子ども達とのコーナー保育は、新型コロナウイルス感染症の新しい生活様式を考慮し、例年通りの提供を果たす事は難しかったが、気候が秋を迎え涼しくなった頃から、幼児組のマスク生活を定着出来るようになってきた4、5歳児のみコーナー保育の提供を導入できた。
- ・乳児に対しては一人ひとりの発達をふまえ、個の成長段階を意識し大切にしながら、丁寧にゆっくり、ゆったりとした保育を実践してきた。

(2) 職員の資質向上

- ・子どもひとり一人を理解することに務め、気になることなどは、園内研修(ケース検討会議)などの場において全員で考えることができた。
- ・関係機関等との連携も深め、情報交換の機会を設けるなど積極的に取り組めた。
- ・専門性を高めるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努め、自己研鑽に努めた。
- ・子どもの性差や個人差、個性を肯定し、そのことに留意して保育の実践に努めた。

(3) 職員の協力体制

- ・保育園全体をひとつのクラスと捉え、全ての子どもに目を向け、ひとり一人の子どもの状況などについて職員間で共有化するように努めた。
- ・それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあい、助け合うことができた。
- ・職員それぞれの思いを受け止め、信頼関係のもと保育実践が展開できた。
- ・積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかかわりを一緒に見出していくことができた。

(4) 子ども目線の環境づくり

- ・限られたスペースの中で、子どもたちが自分の空間を見つけ、落ち着いて過ごせる場所づくりを工夫できた。
- ・子どもが自由に遊べるよう、また、子ども自身が主体的に遊べるよう、育ちにふさわしい環境、玩具を準備することを意識してきた。
- ・子どもの感覚を大事にし、子どもが描いたり、創ったりすることが出来るよう廃材等を用意し、意欲がもてるよう工夫してきた。

(5) 保護者との関係づくり

- ・保護者の家庭状況、家庭環境を十分に理解し、日ごろから子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受け止め信頼関係の構築に努めた
- ・保護者面談等で保護者と話す中で、子育てについて情報交換し共有しあいながら、保育に生かすよう努めた
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により園内への立ち入り制限をしたことで、園内の様子や子ども達の様子が伝わりづらくなならないよう、写真や動画などを用いて掲示や DVD 販売などを通じた情報発信にも努めた

(6) 保護者意見の反映

- ・保護者からの意見・要望などについては実現に努めるとともに、実現の可否に係わらずその対応について説明を行った。
- ・運動会や発表会など、保護者の方々にアンケート調査を実施し、集計結果を公開しその後の行事の参考にした。
- ・懇談会の出欠の手紙にコメント欄を追加し、保護者のご意見を聞けるようにした。
- ・発表会においては新曽福祉センターを利用し、入場いただけなかった祖父母の方や、兄弟児の来場ができるよう工夫をした。

(7) 給食に対する取組

- ・年間食育計画に基づいた取組の実施【野菜の栽培】
- ・アレルギー児毎に対応した給食メニューの提供だけでなく、アレルギー児とアレルギーのない園児が同給食を食われる様給食室と共に検討を重ねた。
- ・食育事業として、魚の解体を行い、食への感謝と命の大切さを感じた。
- ・子どもクッキングを再開した。
- ・授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食の提供。
- ・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応。

3. 年間利用児数(各月 1 日現在在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
こつぼみ	4	4	4	6	6	6	5	6	6	6	6	6	65
つぼみ	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	93
すずらん	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
ひなげし	9	9	9	10	10	10	10	10	10	9	9	9	114
れんげ	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	115
ひまわり	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	50	50	50	53	53	53	52	52	52	50	50	50	615

4. 職種別職員数(年度末日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常勤職員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
非常勤職員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
派遣職員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33
嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	225

5. 組織体制等

園長 1名 主任保育士 1名 副主任保育士 1名 保育士 13名 看護師 1名
嘱託医 2名 栄養士及び調理員 3名(業務委託)

6. 勤務体制、時間等

- ・早番 7:00～16:00
- ・早2番 8:00～17:00
- ・普通番 8:30～17:30
- ・中番、乳児、幼児番 9:00～18:00
- ・遅番 10:00～19:00 又は 11:00～20:00

7. 職員研修実施内容

別紙のとおり

8. 年間行事実施内容

別紙のとおり

9. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙のとおり

今年度も4、5歳児を対象に口腔衛生向上のため、フッ化物洗口(毎日法に変更)を実施

厨房内の害虫駆除を業者に依頼し通年実施

厨房内清掃を業者に依頼し実施

10. 設備、備品、遊具等の充実内容

- ・施設強化推進費で非常用飲料水・急速冷却パック・ハンディーマイク・ゼリー飲料を購入した。
- ・卒園児の記念品として大型絵本と乳児用パズルを寄付していただいた。

11. 建物等修理・修繕実施内容

- ・園庭日差し除けの取り付けの改善。
- ・園庭のテラスの劣化を考慮し、修繕を施した。

- ・保育室木製扉開閉困難の為、部品交換による修繕及び調整を実施。
- ・厨房機器の不具合箇所等について保守点検業者による修繕の実施。
- ・保育室の空調設備が劣化したため、エアコン修理を実施。
- ・R6新型コロナ感染症対策特別補助金を利用し、各種改修。
 - ① 病児保育室の換気口付き窓設置。
 - ② 延長保育用居室の壁紙を抗菌壁紙に改修。

12. その他

- ・幼児組＝英語教室 講師の英会話に元気に参加。
- ・リトミック教室＝リズム感や敏捷性、表現力の向上などを目的に月に1回指導あり。
- ・体操教室＝運動能力の向上や体幹を鍛え、集団ルールの習得などを目的に月1、2回指導あり。
- ・個別相談対応＝対象児の情緒的安定や自己肯定感の向上などを図るため、母と個別相談を行った。
- ・サッカー教室＝市内サッカークラブの協力を得、月1回、年長組が戸田市保育園協議会主催のサッカー教室に参加した。
- ・卒園児の描いた絵画を一般道路からの目隠しとして、柵に設置

【別紙 活動実績】

項目 月	行事		外部講師		災害訓練		健康管理(健康診断・検便等)		職員会議・職員研修	
	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容
4月	1 23 25	入園式(新入園児6名) 遠足⑤ 誕生会	3 10/24 17	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	11 18	避難訓練 防犯訓練	2・3	幼児・乳児健康診断	1 9 16	安全点検 職員会議 給食会議 リーダー会議 主任会
5月	2 14~ 23 30	こいのぼり集会 懇談会⑤④③②①① 誕生会	1 8・22 15	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	9 16	避難訓練 防犯訓練	1・7 27	乳・幼児健康診断 園児内科検診	1 9 16 28 29 29	安全点検 職員会議 給食会議 リーダー会議 主任会 園内研修
6月	14 20 25 27	サッカー教室 クッキング④⑤ プール開き集会 誕生会	5 12・26 19	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	13 20	避難訓練 防犯訓練	4・5 7	幼児・乳児健康診断 園児歯科検診	3 7 14 18 19 17・21	安全点検/ケース会議 職員会議 給食会議 リーダー会議 主任会 園内研修
7月	5 17 25	七夕集会 夏祭り 誕生会	3 10 17	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	11 18	避難訓練 防犯訓練	2・3	幼児・乳児健康診断	1 5 16 25 26	安全点検 職員会議 給食会議 リーダー会議/主任会 園内研修
8月	6 27 29	スイカ割 クッキング④⑤ 誕生会	7 28 21	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	8 15	避難訓練 防犯訓練	2・3	幼児・乳児健康診断	1 6 20 21 26	安全点検/あさみゆ会 職員会議 給食会議 リーダー会議 主任会
9月	6 10 12 17・20	プール納め サッカー教室 プライベートゾーン④⑤ 運動会リハーサル①乳児・幼児	4 11・25 18	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	12 19	避難訓練 防犯訓練	3・4	幼児・乳児健康診断	2 5 11 19 26	安全点検 職員会議 給食会議/主任会 リーダー会議 園内研修
10月	1・3 11 12 24 16-31	運動会リハーサル② 引き渡し訓練 運動会 誕生会 個人面談	2 7・9	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤	11 16	避難訓練 防犯訓練	1・3	幼児・乳児健康診断	1 8 10 2 24	安全点検 職員会議 給食会議/主任会 リーダー会議 園内研修
11月	1-12 14 19 21	個人面談 立ち合い訓練 サッカー教室 食育集会②③④⑤	6 13・27 20	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	14 21	避難訓練 防犯訓練	5・6 25	幼児・乳児健康診断 園児内科検診	1 13 14 1 28	安全点検 職員会議 給食会議/主任会 リーダー会議 園内研修
12月	6 23 26	サッカー教室 クリスマス会 誕生会	4 11 18	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	12 19	避難訓練 防犯訓練	3・4	幼児・乳児健康診断	2 10 12 6 26	安全点検 職員会議 給食会議/主任会 リーダー会議 園内研修
1月				英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤		避難訓練 防犯訓練	2・3	幼児・乳児健康診断		安全点検 職員会議 給食会議 リーダー会議 主任会
2月	3 7 4-14 21 27	豆まき集会 なかよし会⑤ 懇談会⑤④③②①① サッカー 誕生会	5 12・26 19	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	10 20	避難訓練 防犯訓練	4・5	幼児・乳児健康診断	3 3 10 27	安全点検 職員会議 給食会議/主任会 園内研修
3月	3 8 11 13 18 21/27	ひな祭り 卒園式 サッカー 卒園遠足⑤ クッキング③④ 誕生会/お別れ会	5 12・26 19	英語教室③④⑤ 体操教室③④⑤ リトミック③④⑤	11 19	避難訓練 防犯訓練	4・5	幼児・乳児健康診断	4 4 12 21	安全点検 職員会議 給食会議/主任会 園内研修

6. 第二種社会福祉事業 病児保育室きらら

令和6年度 事業報告

1. 総括

本年度は、利用児童数61人(前年度74人)、利用日数56日(前年度63日)となった。利用児童数は前年比82%、利用日数は前年比88%となり、前年度比としては利用数及び利用日ともに減少している。

本年度も前年度同様キャンセル数が多いのが特徴的である。。キャンセルの理由としては、38、5℃以上の発熱のため利用できないことや、回復し保育園に通園できた。さらには保護者が仕事を休めた、在宅勤務になった等も増え現代の社会背景も関与していると思われる。

利用年齢は1歳児が最も多く、1歳・2歳・3歳で全体の80%をしめている。疾患別では感冒・感冒様症候群が最多で、新型コロナウイルス感染症の減少とともに手足口病やインフルエンザなど様々なウイルス性の感染症が多くなってきている。職員として感染症の基礎知識を充分理解し保育にあたりたいと考える。

本年度は、戸田市病児・病後児保育室連絡会が1回あり、市役所側から新型コロナウイルス感染児は受け入れ不可、発熱時に関しては新型コロナウイルス抗原検査等の協力のお願いが可能である。また、感染力の強いアデノウイルス感染症の受け入れ不可との指示があり職員としては安心材料となった。各施設の利用者の情報交換や、困り事など共有できたことも良かった。

次年度もきらら職員同士協力し、利用児及び保護者のニーズに合わせ、安心とともに安全に利用できる病児保育室として活動していきたい。

2. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数(延べ数)	2	7	4	6	1	8	5	7	7	1	9	4	61
利用日数	2	5	4	6	1	7	5	6	6	1	9	4	56
キャンセル人数	1	9	7	9	1	7	4	5	7	1	7	4	62
給食提供利用人数	0	6	2	1	1	5	1	6	3	1	5	0	31

3. 利用年齢

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
利用人数	3	22	15	12	4	2	2	1	0

4. 疾病別人数

	感冒	インフルエンザ	胃腸炎	気管支炎	咽頭炎	扁桃炎	ヘルパンギーナ	手足口病	頭部打撲
利用人数	36	2	5	2	2	2	2	9	1

7. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園

令和6年度 事業報告

1. 総括

「主体的保育」や「子どもの主体性」などのフレーズが流行語のように見聞きする今般の保育業界において、その言葉の本質理解という意味において、本年は「職員の主体性」を重視し、職員間で保育の細部に至るまで話し合いを幾度となく重ねたことで、保育の幅と深みが出てきたように感じている。

子どもが主役であるけれど、保育者一人ひとりも主役であること。それが当園の主体的保育の根幹と考え、子どもと一緒に楽しむ保育が徐々に展開されつつあると感じている。

子どもと一緒に考え、子どもと一緒に行動し、子どもと一緒に楽しむことで、目の前の子ども達が何を考え、感じ、必要としているのかを的確にキャッチできるようになっていく。そうすることで、職員一人ひとりのスキルアップにつながっているものと思われる。

また、キャリアアップ研修を中心とした外部研修にも可能な限り参加し、研鑽に努めている。近年ではオンライン研修やオンデマンド研修なども広く普及し、多人数の研修受講や閑散時間帯での受講など、より現場の実情に即した研修受講体制が徐々に構築されてきているものと考えている。集合(対面)研修も随時開催され、対面と非対面の両方を選択しながら、今後もより効率的で合理的な研修受講を整備していきたいと考えている。

さらには、園活動の周知広報という点において、本年度よりInstagramの運用を開始し、在園児保護者はもとより、一時保育利用者を中心とした地域社会全体への情報発信も展開できたので、今後もその促進を図っていきたい。

子どもたちの最善の利益は何かを園全体で描いていけるよう、日々丁寧な保育実践を行い、引き続き精進していきたいと思う。

令和 7年 4月

むつみ保育園

園長 阿部 敬

2. 年間利用児数(各月 1 日現在在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いちご組	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	47
ちようちよ組	9	9	9	9	8	8	8	8	9	9	9	9	104
なのはな組	6	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52
すみれ組	8	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	89
ばら組	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	59
合計	32	30	30	29	28	28	28	27	30	29	30	30	351

3. 職種別職員数(各月 1 日現在在籍数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常勤職員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
非常勤職員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
パート職員	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	33
嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	15	15	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	189

4. 組織体制等(年度末日現在)

園長1名 主任保育士1名 副主任保育士1名 保育士 11 名※ 嘱託医2名

※加配支援職員(派遣)含む

5. 勤務体制、時間等

- ・早 番 7:00~16:00
- ・早 3 番 8:00~17:00
- ・中 番 9:00~18:00
- ・遅 番 10:00~19:00
11:00~20:00 のうちの8時間

6. 職員研修実施内容

別紙のとおり

7. 年間行事実施内容

別紙のとおり

8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙のとおり

9. 実習生受け入れ状況

- ・保育実習生1名(2月)
- ・看護学校実習生2名(9月)
- ・新曽中学校職場体験実習 中学2年生4名

10. 設備、備品、遊具等の充実内容

- ・乳児・幼児用玩具の経年劣化に伴う、交換補充を実施
- ・厨房内害虫駆除を専門業者に依頼し、通年実施
- ・園庭砂場の砂補充及び殺菌を業者に依頼
- ・令和6年度卒園児保護者より室内運動遊び遊具の寄贈

11. 建物等修理・修繕実施内容

- ・園庭遊具劣化防止及び排水改善のため園庭排水改良工事実施
- ・園内各室窓の遮熱コーティング工事施工

12. 苦情・要望等報告

- ・令和6年度の投書はありませんでした
- ・引き続き皆様のご意見に誠心誠意対応してまいります

【活動実績】

項目 月	行事・活動		職員研修		災害訓練		健康管理(健康診断・検便等)		環境整備・各種会議等	
	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容
4月	1(月)	入園式	2(火)	新年度報告会議(園内研修)	3(水)	避難訓練(図上訓練) 消火訓練	1~15	職員検便 15(月):身体測定(幼児) 16(火):身体測定(乳児)	23(火)	幹部会 給食会議 リーダー会議 職員会議
	2(火)	進級式								
5月	16(火)	英語教室	27(月)	保育園で育む親心(南部研修)	8(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15	職員検便 13(月):身体測定(幼児) 14(火):身体測定(乳児) 27(月):園児内科検診	15(水)	リーダー会議 給食会議 幹部会 職員会議
	18・25	体操教室								
	22(月)	プライベートゾーン講習会(幼児)								
	1(水)	こどもの日の集い								
	14(火)	英語教室								
6月	23	体操教室	17・21 26 (水)	救命講習会(消防署員派遣) 感染予防・基礎研修Web	5(水)	避難訓練(火災想定) 消火訓練	1~15	職員検便 7(金):園児歯科検診 13 身体測定(幼児) (木) 身体測定(乳児) 14(金):	20	給食会議 (木) 幹部会 27 職員会議 (木) 28(金)
	30(木)	誕生会								
	31(金)	クラス懇談会								
	20・27(木)	体操教室								
	14(金)	サッカー教室								
	4(火)	英語教室								
7月	12(水)	プール開き	5・8 12(金) 22(月) 23(火) 26(金) 31(水)	キャリアアップ研修 不遇保育について考える研修会(2名) キャリアアップ研修 キャリアアップ研修 キャリアアップ研修 多様なニーズのある子どもたちへの支援を学ぶWeb	4(木)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15	職員検便 16(火):身体測定(幼児) 17(水):身体測定(乳児)	16(火)	幹部会 リーダー会議 一時保育連絡会 給食会議 職員会議
	5・7・11・13	クラス懇談会								
	28(金)	誕生会								
	25(火)	交通安全教室								
	3(火)	英語教室								
	5(金)	七夕の集い								
8月	24(金)	夏祭り	7(水)	カスタマーハラスメントに関する研修会	2(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15	職員検便 14(月):身体測定(幼児) 15(火):身体測定(乳児)	20(火)	給食会議 リーダー会議 幹部会 職員会議 29(木)
	11	体操教室								
	25(木)	誕生会								
	26(金)	クッキング								
	10(水)	クッキング								
9月	6(火)	英語教室	23 4(水) 9(日) 16(月) 24(火) 30(月)	キャリアアップ研修 小学校との接続研修 キャリアアップeラーニング研修 キャリアアップeラーニング研修(3名) 園内研修 キャリアアップeラーニング研修	6(金)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15	職員検便 17(火):身体測定(幼児) 18(水):身体測定(乳児)	2・3	戸田中央看護専門学校実習受入 給食会議 リーダー会議 幹部会 職員会議
	10(火)	サッカー教室								
	11(水)	クッキング								
	19・26	体操教室								
	27(金)	誕生会								
	15(火)	英語教室								
10月	17・24	体操教室	10(木) 29(火) 4,11 16(水)	県保協研修(2名) キャリアアップ研修 職員面談技法研修 虐待予防研修	25(金)	避難訓練(水害想定)	1~15	職員検便 15(火):身体測定(幼児) 16 身体測定(乳児) (水)	()	幹部会 リーダー会議 職員会議
	18(金)	サッカー教室								
	26(土)	運動会								
	30(水)	誕生会								
	31(木)	ハロウィン								
	5(火)	英語教室								
11月	7~15	個人面談(保護者)	5(火) 6・12 25・26	キャリアアップ研修 市内保育園歳児別研修 キャリアアップ研修	18(月)	避難訓練(地震後の火災想定) 消火訓練(消防立会い訓練)	1~15	職員検便 14(木):身体測定(幼児) 15(金):身体測定(乳児) 25 園児内科検診 (日)	15(金)	監査 リーダー会議 給食会議 幹部会 職員会議
	19(火)	サッカー教室								
	21・28	体操教室								
	22(金)	食育集会・クッキング								
	29(金)	誕生会								
	3(火)	英語教室								
12月	6(金)	サッカー教室	9(月) 27 (金)	研修 園内研修	17 (火)	防犯訓練 消火訓練	1~15	職員検便 16(月):身体測定(幼児) 17(火):身体測定(乳児)	20	職員会議 リーダー会議 給食会議 幹部会 11(水)
	19・26	体操教室								
	20(水)	誕生会								
	25(水)	クリスマス会								
	7(火)	英語教室								
1月	9(木)	もちつき集会	14・18 14(火) 20・21	キャリアアップ研修 市内保育園障害児保育見学会 キャリアアップ研修	8(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15	職員検便 15(水):身体測定(幼児) 16(木):身体測定(乳児)	17(金)	給食会議 一時保育連絡会 リーダー会議 24(金) 27(月) 東京家政大学実習受け入れ(10日間) 職員会議 幹部会
	17(金)	サッカー								
	23・30	体操教室見学会								
	31(金)	誕生会								
	14・28	童謡クラブ								
	3(月)	百ます集会								
2月	15(土)	発表会	20 (木)	埼玉医科大学病院研修	5(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練	1~15	職員検便 13(木):身体測定(幼児) 14(金):身体測定(乳児)	20(木)	リーダー会議 給食会議 幹部会 職員会議
	18・19・20	懇談会								
	26・27	サッカー教室								
	21(金)	誕生会								
	28(金)	誕生会								
	3(月)	ひな祭り集会								
3月	4(火)	英語教室	15(土)	園内研修	11(月)	避難訓練(市のシイタケ参加) 消火訓練	1~15	職員検便 13(木):身体測定(幼児) 14(金):身体測定(乳児)	12(水)	給食会議 リーダー会議 職員会議
	11(火)	サッカー教室								
	14(金)	お別れ給食								
	15(土)	卒業式								
	4・18	童謡クラブ								
	6・13	体操教室								
19(水)	卒業遠足									

8. 第二種社会福祉事業 むつみ保育園一時保育事業

令和6年度 事業報告

1. 総括

令和6年度の登録者数は53人、利用者数は延べ431人であった。利用児童数431人のうち、乳児は398人、幼児は33人であった。就労での利用が206人と最も多く、続いて通院73人、リフレッシュ67人、産前産後46人となっている。昨年度は1人だった幼児利用は、今年度33人に増え、長期休みに預かり保育がなくなる幼稚園通園児の利用が増えた。

3月までの利用者が転園や幼稚園入園などがあったため、4、5、6月と利用者が少なかった。一時保育周知の為にチラシを作成したり、職員体制の見直しや調整をする中で予約をとりやすくするなどして、7月以降から徐々に新規の利用が増えていった。昨年も7月以降に登録者、利用者共に増加しているので、一時保育としての需要にそういった傾向があるかもしれない。就労や傷病での利用が増えたことで総利用者数増に繋がったものと推察される。

職員が増えたことから今年度から一時保育専用の共有ノートを利用した。出勤時間に差がある職員にも漏れなくスムーズに情報伝達や共有することができたので大変効果的だった。

6月からは一時保育担当の職員が1名増え、子どもとじっくりと関わりながら一人ひとりに合わせた対応が取りやすくなった。また、保育だけではなく、一時保育に関する事務の作業に集中できる時間も確保できた。一時保育担当職員はフリーとして各クラスのヘルプに入ったり、保育室の掃除などの担任補助としてクラスに入ることも多いため一時保育担当職員で声を掛け合うことで円滑に業務が出来た。

10月の運動会では、一時保育利用児の競技を設けて保護者と共に招待をする取り組みを初めて実施。兄弟児合わせて9名と参加率も高く、反響も良い感想が多かった。日頃から、一時保育の様子は連絡帳や口頭で伝えてはいるが、今回の運動会行事を通じて、在園児や園全体の様子や雰囲気を知る良い機会となったように感じている。

12月からはむつみ保育園のアカウントでインスタグラムを開設し、実際の保育の様子や予約の空き状況を週1回ペースでアップしている。写真は子どもの顔を隠した状態でプライバシーに配慮しつつ、散歩や給食などの様子を全体に公開し、利用者や利用を検討する人など多くの人が見られる状態にした。予約の空き状況についてもインスタグラムから気軽に閲覧できるようにしている。

先述の通り、夏休み、冬休み、春休み期間は預かり保育のない幼稚園からの幼児の利用も多くなった。一時保育室が手狭なため、幼児組に合流して散歩や給食などの活動を行ったり、2歳児室のスペースを少し借りたりするなど工夫して保育を行った。今後も幼児の利用が見込まれるので、より快適に生活や保育ができるように職員間でアイデアを出し合いながら進めていきたい。

2. 利用児数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用児童数	14	11	12	24	38	43	40	49	37	46	48	69	431
乳児	13	11	12	21	29	43	39	48	32	40	47	63	398
幼児	1	0	0	3	9	0	1	1	5	6	1	6	33

3. 利用事由及び時間数

利用事由	時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労	1日	7	5	6	12	20	13	22	18	12	25	16	43	199
	半日	2		1	1	0	1	1	1					7
就学	1日													0
	半日													0
面接	1日													0
	半日													0
職業訓練	1日													0
	半日													0
学校行事	1日													0
	半日		1											1
通院	1日				6	12	6	1	6	1	8	11	7	58
	半日	2		1	2	2	1			1	2	3	1	15
看護	1日													0
	半日													0
冠婚葬祭	1日													0
	半日													0
産前産後	1日						13	8	14	5			6	46
	半日						1	1						2
慣れ保育	1日													0
	半日	1	2	1	1		4	1	2	2	4	6	2	26
その他(引越し、 裁判所)	1日													0
	半日									3				3
リフレッシュ	1日	1	2	3	2	4	5	4	7	5	6	5	8	52
	半日	1	1						1	3	1	6	2	15
登録者数		1	3	3	2	1	4	2	1	7	5	5	19	53

9. 第二種社会福祉事業 むつみ学童クラブ第一・第二

令和6年度 事業報告

本年度は、当法人の理念である「意向の尊重・尊厳保持・心身の健全育成」を柱に、職員一人ひとりがこどもの安心・安全の確保に努めてきた。また職員協力体制の下、特別支援児童の受け入れも実施することができた。今後も、専門的かつ多機能な法人の支援サービスを活用し、地域社会における子育て支援の質を向上させていきたい。

超少子高齢化が進む中、児童を取り巻く社会環境や福祉情勢も大きく変化しており、物価の高騰による経済格差の拡大が懸念されている。このような社会構造の変化に伴い、家庭や地域との関係の希薄化による社会的孤立、生活困窮、虐待・DVへの対応がいっそう重要な課題となっているだろう。

こどもの最大の利益の保障、児童の意見表明の機会確保がより重要である。不適切な環境で育つ児童は、保護者の意見と自分の意見を同一視することがあり、生きづらさを抱える場合も少なくない。近年、児童を狙った犯罪、ソーシャルメディアによる暴力・性表現が問題となっており、理解を深める必要もある。こども、保護者任せにすることなく、職員自らが学び、具体的な対策を工夫せねばならない。これらの取り組みを、中長期計画に反映し、今後も鋭意努力を重ねたい。

<中長期計画>

利用児者支援に関して、3～5年後のあるべき姿を設定した上で現状を把握するために、次の中長期計画を策定し、令和5年度より3年間実施する。

1. 児童への支援サービスの向上

- * 防犯訓練の強化 …… 児童の安心・安全確保及び訓練の強化
- * 緊急連絡網の整備 …… 非常時に備えた頑健な連絡ツールの導入
- * 関係機関との連携 …… 学校や学童クラブ、他機関との連携
- * 記録システムの活用 …… 個の記録の蓄積を通じた個別計画的な支援
- * 権利擁護の機会提供 …… 意見箱の設置による意見表明機会の提供
- * ホームページ等での発信… 活動内容の発信を通じた児童の意欲の向上

2. 人財の育成

- * キャリア教育の推進…… 尊厳保持のための挨拶やマナーの向上
- * 研修機会の提供 …… 学童保育の専門性の向上

3. 各種事業への協力

- * 学習支援事業との連携…… 学習教材の充実による学ぶ意欲の向上
- * 母子生活支援施設との連携… 生活困窮世帯等への情報提供の向上

令和 7年 4月

むつみ学童クラブ 第一・第二

統括施設長 永塚博之

1. 運営目標と結果

1)学童保育の資質向上

- ・児童に対して、一方的に保育者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、保育の中心は「児童が主体」であるという認識のもと、過ごしやすい環境を整えた。
- ・年齢の異なる児童たちに班での役割づくり、自主的に片付けや清掃を促した。
- ・児童の意欲を引き出せるような遊具を揃え、児童同士で遊べるような環境を整えた。
- ・卓球や工作など、職員による働きかけを通じ、児童の様々な可能性を引き出す活動を行った。

2)職員の資質向上

- ・児童一人ひとりにしっかりと向き合い、よいこと・気になることを保護者と共有するとともに、職員間で対応を共有化した。
- ・専門性を高めるため、埼玉県学童保育協議会を通じて『日本の学童ほいく』雑誌を年間購読し、毎月の学童保育のあり方について、自己学習に努めた。
- ・児童の発達、年齢、性差についての理解に努め、個人差、個性に留意して接した。
- ・埼玉県主催の心のケア研修や発達支援研修に職員を参加し、理解と対応についての学びを深めるとともに、働きやすい職場づくりを意識した。

3)職員の協力体制

- ・むつみ荘やむつみ学習支援センターと協働し、児童への行事や学習支援を行った。
- ・職務分掌を定め、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあう体制づくりに力を入れた。
- ・職員同士、積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかわりを、職員間で共有した。
- ・コロナ対策は緩和されたものの、インフルエンザをはじめとする感染症自体はこれまでの発生するため、熱がある職員は退勤する、コロナ関係は役所報告するなどの対応を行った。

4)保護者との関係づくり

- ・施設内でのけがや病気、児童間のトラブルなど、日ごろから伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受け止め、信頼関係を築くように努めた。
- ・保護者からいただいた要望については、できる限り丁寧に耳を傾け、対応したことについて、保護者にフィードバックするよう心掛けた。
- ・中学校襲撃事件以降の施錠対策を強化してきたが、現在も施錠等の対策を継続実施し、保護者の理解と協力を得ている。

5) 関連機関との関係づくり

- ・新曽北小学校学童クラブには、校庭に遊びに出る際に関わりを持つが、必ず挨拶するように努め、よい関係となるよう心掛けた。また新規入室児童が北小学童からの移籍に伴い、環境変化に不自由を感じることがないように連携を図り、同等の支援サービスとなるよう努めた。
- ・児童青少年課には、保護者要望、事故、修繕などを報告し、連携を欠かさないように努めた。
- ・とくに虐待が疑われるケースでは、児童青少年課だけでなく、親子健やか室との連携を密に行った。また、新曽北小学校との連携は直接実施していないが、弊会母子生活支援施設での関わりを通じて、学校管理職や教員との間接的な関わりは継続的に行えている。

2. 利用実績

1) 各月 1 日現在在籍数（令和7年 3 月 31 日時点）

児童数・職員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
第一 児童数	26	25	25	25	25	23	23	22	23	23	22	22	284
3年生	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	88
4年生	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
5年生	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	27
6年生	7	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	4	61
第二 児童数	24	24	24	25	26	24	23	23	23	23	22	22	283
3年生	13	13	13	13	14	13	13	13	13	13	12	12	155
4年生	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	50
5年生	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	30
6年生	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
職員数	15	15	16	16	17								
学童支援員	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
補助支援員	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
法人職員	5	5	5	6	7	7	7	7	7	7	7	7	

2) 組織体制

統括責任者：統括施設長1名(理事長)

法人相談員：基幹的職員1名(防火管理者・衛生推進者)、相談員5名、学習支援員1名、

学童支援員：放課後児童支援員3名、

補助支援員：学童指導員2名(無資格、経験2年以上)、学童補助員5名(無資格)

(放課後児童支援員9名、社会福祉士2名、保育士2名、教員資格3名、公認心理師1名を含む)

3) 勤務体制・時間

常勤 早番 7:30~16:00 中番 10:30~19:00

非常勤 早番 9:00~18:00 中番 10:00~19:00

パート 早番 9:00~15:00 中番 13:00~19:00

4)修繕・設備整備(有償)

- ・防虫防除(年2回) ラミコジャパン
- ・消防設備点検(年2回) 駒崎商会
- ・ネット接続不良改善/Wi-Fi機器再設定 スターティアリード
- ・カーテン清掃 キングランメディケア
- ・館内清掃・階段室雨水対策工事等 テラオカ

5)行事報告

誕生日や夏休み行事等の定期行事を実施している。また左記以外にも、制作物などの小さな行事を取り入れて、放課後の時間を豊かに過ごせるよう配慮している。

	日付	表題	内容
1	R6 4/24	4月誕生会	内容:フルーツバスケット、ピンボール競争 誕生会メッセージカードの作成
2	5/30	5月誕生会	内容:イエスノーゲーム 誕生会メッセージカードの作成
3	6/24	6月誕生会	内容:フリスビーピンポン玉競争 誕生会メッセージカードの作成
4	7/30	7月誕生会	内容:スイカ割 誕生会メッセージカードの作成
5	8/21	8月誕生会	内容:夏祭り(ピンボール、輪投げなどの屋台) 誕生会メッセージカードの作成
6	9/26	9月誕生会	内容:ドッチボール 誕生会メッセージカードの作成
7	10/28	10月誕生会	内容:おたまりレー 誕生会メッセージカードの作成
8	11/21	11月誕生会	内容:じゃんけん ルーレット 誕生会メッセージカードの作成
9	12/18	12月誕生会	内容:もの探しゲーム 誕生会メッセージカードの作成
10	R7 1/27	1月誕生会	内容:音速飯店ゲーム 誕生会メッセージカードの作成
11	2/26	2月誕生会	内容:ドッチボール 誕生会メッセージカードの作成
12	3/19	3月誕生会	内容:おやつ提供のみ 誕生会メッセージカードの作成

6)寄付報告

・たくさんのご寄付をいただきました。ありがとうございます。

No.	寄贈日	寄贈者名	寄贈品名	数量	HP/匿名/礼状
1	4/12	フクダ様	各種野菜	56	
2	4/19	山秀様	本	15	礼状
3	4/22	日吉様	玉ねぎ	345	
4	4/27	フクダ様	各種野菜	10点	
5	4/30	日吉様	各種野菜	110点	
6	5/13	日吉様	各種野菜	76点	
7	5/21	日吉様	小玉ねぎ	1箱	
8	5/16	今井様	本	15冊	
9	5/27	日吉様	各種野菜	54点	
10	5/28	内田様	パズル	3点	
11	5/28	奥谷様	ボードゲーム	1点	
12	5/28	奥谷様	音楽伴奏集	1冊	
13	6/3	日吉様	各種野菜	98点	
14	6/4	今井様	ストロー	50本	
15	6/14	日吉様	各種野菜	45点	
16	6/24	日吉様	各種野菜	324点	
17	7/1	日吉様	各種野菜	146	
18	7/8	日吉様	各種野菜	78点	
19	7/16	日吉様	各種野菜	212点	
20	7/30	日吉様	各種野菜	200点	
21	8/5	日吉様	各種野菜	40点	
22	8/19	日吉様	各種野菜	112点	
23	9/9	日吉様	各種野菜	222点	
24	10/7	日吉様	各種野菜	188点	
25	10/21	日吉様	各種野菜	109点	
26	11/11	日吉様	各種野菜	46点	
27	12/9	日吉様	各種野菜	158点	
28	12/28	日吉様	各種野菜	15点	
29	2/4	日吉様	各種野菜	115点	
30	2/5	日吉様	各種野菜	102点	
31	2/12	日吉様	各種野菜	134点	
32	3/3	戸田市社協様	鉛筆削り	1点	
33	3/4	日吉様	各種野菜	113点	
34	3/18	井高亜子様	5月人形、筆記用具	19点	HP
35	3/24	日吉様	各種野菜	66点	
36	3/27	岩崎様	本4冊、クーピー	6点	
37	3/31	日吉様	各種野菜	58点	

7)防災訓練報告

火災・地震・台風・水害に備え、通報・防火防災・避難訓練を行った。本年度は、職員全体での訓練をテーマとし、さらなる訓練方法の見直しを図ることを目的に、職員向けの訓練を多くした。次年度も引き続き、各部署の担当者とともに訓練方法の見直し、大地震や水害他の非常事態に備えたい。

	日付	種別	内容
1	R6/4/1	計画・図上訓練	R5年度の防災についての振り返り。R6年度の計画の共有をした。合わせて、図上にて避難経路の確認を実施。
2	5/1	水害	持ち出しリュックの確認を行い、防災リュックの入れ替えした。学童児に避難について説明を実施。
3	6/3	震災	『お・か・し・も・ち』について全体周知を実施、震災が起きた際の児童、職員への周知共有化。
4	7/1	熱中症等	熱中・脱水症状等の対応を職員間で共有、児童に声掛けを実施。WBGT(暑さ指数)の確認を行い、外での活動の危険性に配慮した。
5	8/1	熱中症等	熱中・脱水症状等の児童に対し声掛けを実施。自分自身でも症状が把握できるように説明を行っている。
6	9/2	水害・台風	職員間で避難経路、持ち出し品の確認を行い、合わせて防災リュックの更新を実施。
7	10/1	震災	『お・か・し・も・ち』について全体周知を実施、震災が起きた際の児童、職員への周知共有化。児童にも避難経路の説明を行った。
8	11/1	積雪	児童に対し、道路など積雪がある場所へ注意喚起を実施。積雪があった際、融雪剤の確認と散布方法など職員へ周知した。
9	12/2	火災	乾燥した季節となり、火災が起きやすくなっていることを児童に周知した。出火場所の起こりうる場所の確認を職員間で情報を共有。
10	R7/1/6	通報	通報訓練を実施。通報の仕方を職員間で共有化した。
11	2/3	水害	持ち出しリュックの確認を行い、防災リュックの入れ替えした。職員間で避難経路を確認した。
12	3/3	次年度計画・避難	来年度の防災について職員間で話合う。避難経路を児童に避難経路の周知。

8)事故等報告・苦情解決

事故報告書等を作成のうえ、原因や改善点などを分析・検討し、再発を防ぐよう努力する。支援員・補助員・相談員が参加し、事故を振り返るとともに、対応について協議した。事故とヒヤリハットの区別ができていないため、事故分析が今後の課題である。

① 事故報告 10件 ヒヤリハット 0件

	日付	種別	内容と結果・対応
1	R6/4/8	お道具箱落下	児童がお道具箱を落としてしまい破損。保護者父は弁償になるか不安の声が聞かれたため、両保護者の仲介役として対応した結果、わだかまりが解けた。
2	4/10	玩具破損	児童から「玩具(迷路ボール)を割ってしまいました」との報告を受け、保護者に報告した。不適切な使用結果であるため弁償いただいたが、子どもは玩具を壊すものと保護者の理解は得られず。
3	5/8	机での殴打	児童間の接触でおでこを机にぶつけ、腫れを確認したため冷却処置し、保護者への報告をした。その後の体調変化はない。
4	6/17	児童への不適切対応の疑い	保護者から電話にて「職員に腕を強く握られ痛くて号泣した」「児童の写真を撮っていた」ことへの事実確認の依頼あり。当該職員には誤解招く行動を注意し、保護者に謝罪した。
	6/20	連絡帳確認ミス	連絡帳により、一人帰りと思ったが、子より違うと申し出あり。保護者確認済み。連絡帳再確認すると別日の記録だったと発覚した。
	8/5	児童間の接触事故	バナナ鬼をしている際、助けようとして児童同士が衝突(一人は眉間、も一人は右側頭部(耳を含める)を接触)。大怪我にはいたらなかったが、遊び中断し着替え後、冷却処置した。
	8/14	水筒落下による怪我	遊びの際、児童が自ら水筒を落とし、足にぶつけたようで、児童から報告があり、冷却処置した。
	8/28	退室確認漏れ	日誌にも「欠」の文字がなく、入室児童として扱うがすぐ帰宅しており発覚が遅れた。保護者に確認すると家に帰っており「道具箱を取りに寄っただけ」と報告いただいた。
	9/4	児童への不適切対応の疑い	遊具を破損した際、職員の名前を呼ぶが職員に聞こえておらず、注意された。結果「無視されたから言えなかった」「壊したのに黙っていた」と両者が言い合いとなる。職員の声が大きかったことで児童が怖かったと泣いたことで他職員が気付く。当該職員には誤解招く行動を注意し、保護者に謝罪した。
	10/30	清掃中の怪我の危機	清掃のため立てかけていた軽量畳が倒れ、その時に近くにいた児童のつま先に畳が落ちたが、大きな怪我には至らなかった。

② 苦情件数 0件 (うち解決 0件)

苦情解決の仕組みを改めて整備し、投書箱を設置したが、相談は0件だった。また、入退室管理システム(コドモン)を導入した結果、保護者との連絡が密になったことで、小さな相談のうちに解決できている印象があるものの、こども、保護者が相談しやすい体制づくりが課題である。

10. 公益事業 むつみ学習支援センター

令和6年度 事業報告

本年度は、当法人の理念である「意向の尊重・尊厳保持・心身の健全育成」を柱に、職員一人ひとりがこどもの安心・安全の確保に努めてきた。また職員協力体制の下、高校生児童の受け入れも実施することができた。今後も、専門的かつ多機能な法人の支援サービスを活用し、地域社会における子育て支援の質を向上させていきたい。

近年、超少子高齢化が進む中、児童を取り巻く社会環境や福祉情勢が大きく変化し、物価高騰による経済格差、社会的孤立、生活困窮等が懸念される。このような社会構造の変化に伴い、子どもの居場所として学習支援が注目される中、戸田市では支援団体のネットワーク化が着実に進んでいる。

こどもの最大の利益の保障、児童の意見表明の機会確保がより重要である。とりわけ、学習支援事業は、学習習慣を身に着け、学習意欲を高める契機となっている。センターでは、この学習支援という強力な支援ツールを活用し職員自らが学び、具体的な対策を工夫せねばならない。これらの取り組みを、中長期計画に反映し、今後も鋭意努力を重ねたい。

<中長期計画>

利用児者支援に関して、3～5年後のあるべき姿を設定した上で現状を把握するために、次の中長期計画を策定し、令和5年度より3年間実施する。

1. 児童・保護者・地域への支援サービスの向上

- * 緊急連絡網の整備 …… 非常時に備えた頑健な連絡ツールの導入
- * 関係機関との連携 …… 福祉や学校や教育等の他の機関との連携
- * 記録システムの活用 …… 個の記録の蓄積を通じた個別計画的な支援
- * 権利擁護の機会提供 …… アンケート等による意見表明機会の提供
- * キャリア教育の推進 …… 尊厳保持のための挨拶やマナーの向上
- * ホームページ等での発信 …… 活動内容の発信を通じた児童の意欲の向上

2. 人財の育成

- * スタッフ定着支援 …… スタッフとの意見交換の機会の提供
- * 研修機会の提供 …… 専門性向上を促す研修機会の提供

3. 各種事業への協力

- * 大学機関との連携 …… 学習教材の充実による学ぶ意欲の向上
- * 母子生活支援施設との連携 …… 生活困窮世帯等への情報提供の向上
- * 彩の国あんしんセーフティネット事業との連携 …… 同上

令和 7年 4月

むつみ学習支援センター

統括施設長 永塚博之

1. 運営目標と結果

1) 学習支援の資質向上

- ・児童に対して、一方的に支援者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、「児童が主体」であるという認識のもと、学習者中心の指導を行った。
- ・年齢の異なる児童の集中力に合わせて休憩時間を設け、リフレッシュを促した。
- ・児童の意欲を引き出せるような学習教材を揃え、自主学習しやすい環境を整えた。

2) 職員・ボランティアの資質向上

- ・ボランティア受け入れに際し、本事業と活動について十分な理解が得られるよう研修を実施し、子どもの貧困や学習支援の意義や個人差などの背景知識などを説明した。
- ・児童一人ひとりにしっかりと向き合い、年齢や精査に応じた指導を通じ、「できた・わかった」という経験ができるよう、毎回学習指導後に、職員とスタッフ間で課題を共有化した。
- ・実習巡回の先生より助言をいただき、学習成果の定着を促すような取り組みを実施した。

3) 職員・ボランティアの協力体制

- ・むつみ荘やむつみ学童クラブと協働し、児童への学習支援を行うよう努めた。
- ・職務分掌を定め、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあえる体制づくりに、心がけた。
- ・職員は、ボランティアに対してコミュニケーションをはかり、児童にとって、より良いかわりを一緒にできるよう、関係構築を心がけた。
- ・指導的な方法よりも、支援的な方法を重視するよう、ボランティア・支援者に協力を求めた。
- ・ホームページを通じたボランティア参加申し込みが多くなっており、インターネット等での発信の重要性を再認識した。

4) 保護者との関係づくり

- ・児童に対する気かりなど来所や電話、寄付品の配布等を通じての関わりを持った。
- ・保護者からいただいた要望については、できる限り丁寧に聴きとり、対応したことについて、保護者にフィードバックするよう心がけた。

5) 関連機関との関係づくり

- ・戸田市役所担当課の職員や教育支援員から、本事業への見守りやご指導をいただいた。
- ・母子生活支援施設むつみ荘への実習指導校(保育士、社会福祉士、公認心理師の各コース)に、ボランティアの募集のご協力をいただいた。
- ・弊法人実施では「食事補助クーポン券配布事業」を実施し、地域の子どもの居場所事業に協力しているが、本学習支援事業の登録児童に対し、世帯人数分のクーポン券を配布した(計 162 枚)。

2. 利用実績

1) 各月実績

令和6年度 児童数・スタッフ数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計 (回/人)
実施回数	15	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	190
児童数	45	59	92	59	58	73	59	59	45	37	45	24	655
高校生等小計	1	0	2	0	0	2	2	0	0	1	1	0	9
準じる生徒													
高校3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校2年生													
高校1年生	1	0	2	0	0	2	2	0	0	1	1	0	9
中学生小計	35	52	69	49	41	54	45	51	36	29	34	8	503
中学3年生	10	22	26	27	24	31	21	26	27	21	18	2	255
中学2年生	7	6	8	7	2	7	7	6	2	3	6	2	63
中学1年生	18	24	35	15	15	16	17	19	7	5	10	4	185
小学生小計	9	7	21	10	17	17	12	8	9	7	10	16	143
小学6年生	0	1	5	4	5	4	4	4	3	3	4	5	42
小学5年生	7	5	9	5	8	8	6	4	4	4	5	7	72
小学4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
小学3年生	2	1	1										4
小学2年生	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	0	0	6
小学1年生			6	1	4	2	1				1	2	17
ボランティア数	22	19	27	25	25	24	24	20	20	17	19	14	256
社会人	15	12	20	15	18	16	15	13	15	14	15	12	180
大学生	7	7	7	10	7	8	9	7	5	3	4	2	76
高校生													
実習生数	2	19	38	35	40	28	37	27	27	23	27	15	318
職員数	26	30	37	34	35	31	33	32	29	29	21	24	361

※市内小中学校参加実績

小学校12校中8校 中学校6校中6校からの参加があった。

※中学三年生実績

継続利用した7名の内6名は高校への進学を果たした。内1名は連絡がつかず把握できなかった。

(内訳: 公立高校進学4名、通信制高校進学2名、私立高校進学なし)

2) 組織体制

統括責任者: 統括施設長1名(理事長)

法人相談員: 基幹的職員1名(防火管理者・衛生推進者)、相談員5名、学習支援員1名、

(資格: 社会福祉士2名、保育士2名、放課後児童指導員4名、公認心理師1名を含む)

3) 勤務体制・時間

常勤 早番 9:00~17:30 中番 10:30~19:00 遅番 12:30~21:00

非常勤 早番 9:00~18:00 中番 10:00~19:00 遅番 12:00~21:00

4)修繕(有償)

・エレベーターホール雨水侵入防止工事

5)事故等報告・苦情解決

事故報告 0件 ヒヤリハット 0件 苦情件数 0件 (うち解決 0件)

6)寄付品

・学習支援に多くの方の理解が得られ、寄付をいただいた。

現品名	詳細	寄付者名	数量
学習教材、資料	高校教科書等教材	大正大学 久羽様	30 点
	単語帳	埼玉県社会福祉協議会様	29 点
	中1英語ワーク、中1国語ワーク、2022年度受験用社会科	匿名希望	3 冊
食品	サトウのごはん レトルトハヤシ&牛丼	埼玉県社会福祉協議会様	90 食 80 食
	ルーズリーフ	戸田市社会福祉協議会様	2冊
	レトルトカレー、ツナ缶、フリーズドライスープなど	カーブス様	135 点
	駄菓子類	匿名希望	51 個
	缶ジュース、ゼリー、水ようかんなど	匿名希望	40 個
	キウイ、バナナ、ニラ、たまねぎ、ズッキーニ、カブ、アスパラガス、パプリカ、キャベツ、ごぼう、じゃがいも、梨、さつまいも、グリーンリーフなど	(株)日吉青果店様	139 点
	パン、コールスロー等	暖家様	95 個

11. 公益事業 生計困難者に対する相談支援事業

(彩の国あんしんセーフティネット事業)

令和6年度 事業報告

『彩の国あんしんセーフティネット事業』は埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の実施する事業である。弊法人では、平成26年9月より公益事業「生活困難者に対する相談支援事業」として、職員を相談員として派遣し、戸田市で暮らす経済困窮者の支援を行っている。

本事業は、失業・虐待・DV・けがや病気などが原因で生活困窮状況に置かれた方々が、各福祉制度につながるまでの間、支援を行う活動である。原則、「相談→訪問→支援の決定」が大きな流れとなり、相談に応じ必要性を判断し、事業所長が決定権を持つ。支援には食材の提供等による支援や公共料金の滞納金の立替払いをするなどの一時的な経済的支援(限度額がある現物給付)も実施可能である。

また、よつば保育園・むつみ保育園では、同協議会が実施する「衣類バンク」にも協力している。

本年度の相談件数は、コロナ禍に比べ、回復する傾向にある。ただ、給付金等で生活できていた人が生活困窮に戻ったなどの影響も考慮しなくてはなるまい。今後、賃金上昇となって経済的流動性が回復したとしても、急に経済格差等の問題が解決するとは考えにくく、困窮しても相談にたどり着けない人がいることを忘れてはならない。引き続き、地域の生活困窮者への支援の一端を担うべく、本事業を継続的に実施し、各機関と連携を図りたい。

相談者の 年齢・性別	性別	20歳 未満	20歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳～ 80歳	81歳 以上	不明	合計
	男			1				1			4
	女		1	1							

相談時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
					1			1			1		1

対応回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	合計
			1			2				1			

相談種別※複数回答あり																
高齢	児童	母子 寡婦	身体 障害	知的 障害	精神 障害	DV	児童 虐待	多重 債務	生活保護 受給中	生活保護 申請中	失業	疾病	低所得	ホーム レス	他	
1	2				1	1	1	1	1	1	0	2	2		1	

対応種別 ※重複有	相談のみ	相談訪問	現物給付	食材提供	合計
		1	3	1	1

給付金額	0	0～ 1000	1000～ 2000	2000～ 3000	3000～ 10000	10000～ 20000	20000～ 50000	50000～ 100000	合計
		2							2

※現物給付の1件は他の拠点より給付となっています。

支払合計金額	平均金額	支給 平均金額
¥155,596	¥77,798	¥77,798

12. 公益事業 食事補助クーポン券配布事業

令和6年度 事業報告

「食事補助クーポン券配布事業」は、定款に定められたひとり親世帯等経済的困窮世帯や子どもの居場所を利用する世帯を対象とした食育事業である。食育に関して、平成20年12月よりむつみ荘利用者と退所者、戸田市母子寡婦福祉会会員など戸田市内のひとり親世帯を対象に、NPO法人によるフードバンクの協力を得た「食育サポート事業」を実施してきた。令和に入り、新型コロナウイルス感染症が急拡大すると、様々な子育て家庭の経済的困難が社会課題として知られるようになった。そのため、弊会としても、支援対象を拡大する必要があると判断した。関連機関、子育て団体等に聞き取りを行って検討した結果、戸田市内在住のひとり親世帯等・経済的困窮世帯やその予備群(こども食堂・学習支援事業や子どもの居場所活動の利用世帯など)に対し、食育支援を行うこととした。ただ、むつみ会単独で行える事業には限りがあるため、戸田市役所、戸田市社会福祉協議会、戸田市商工会、戸田ライオンズクラブ等の協力・後援を願い出たところ、快い協力が得られ、市内の飲食店との連携が可能となったのである。

本事業は、対象世帯の支援のみならず、地域、子ども・子育て家庭支援関係活動団体との連携を深めることが可能であるため、地域の児童福祉の向上も目指している。利用・協力・後援をいただいた当事者・関係者の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げたい。

なお、当年度の実績は、以下のとおりである。協力店一覧は別紙参照のこと。

【クーポン券利用実績】

店名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	店小計
ママ応援カフェ ソニード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	34
石窯パン工房 暖家	20	0	20	0	22	30	0	28	0	22	28	0	170
ピストロ プティ ラ ジョワ	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6
やぶ忠	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
からあげやガリッシュ戸田公園	19	10	0	0	24	0	0	0	0	38	0	0	91
リゾート肉バル アンダマンブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	58
ガーリックダイニングバー	0	0	0	0	4	0	8	10	0	0	0	0	22
ゴハン屋 フタバ	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
芳せんカフェ ひとしずく	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	18
小計	39	10	20	7	50	48	8	38	6	118	28	34	406

配布枚数 配布予定枚数1000名(予算 1000 枚×500円=50 万円)

(配布先： 戸田市母子寡婦福祉会、学習支援 L-Cafe、b&gほか子どもの居場所)

実績配布 枚数 720 枚

回収枚数 枚 (むつみ会支出 488 枚×500円=24.4 万円)利用協力店実績

<配布・利用の流れ>

むつみ会がクーポン券を発行(一年に1回、一人2枚配布)

⇒配布依頼⇒対象世帯が券を利用⇒枚数に応じた代金を支払う。

(別紙)

社会福祉法人むつみ会 食事補助クーポン事業協力店一覧(令和6年4月1日現在)

登録	協力店名	電話番号
1	You's Deli	048-441-2823
2	そば処 更科	048-441-5282
3	グレートアジア	090-6625-8084
4	ママ応援カフェ ソニード	080-4290-1122
5	石窯パン工房 暖家	048-446-2233
6	カフェ トリア	048-444-7806
7	和菓子 笹州	048-445-4868
8	かふえ ふりゆい	048-421-1148
9	ビストロ プティ ラ ジョワ	048-441-4998
10	やぶ忠	048-432-0220
11	Le Copain	048-299-6534
12	スープカリー シーエス	048-420-5105
13	Kiteya Kitchen	048-446-7050
14	からあげやガリッシュ戸田公園店	048-229-7361
15	リゾート肉バル アンダマンブルートダ	048-235-6335
16	ガーリックダイニングバー	048-229-0085
17	中華キッチン TAKA	048-229-2287
18	パステイリー タンタシオン	048-229-7634
19	ゴハン屋 フタバ	048-442-7775
20	芳せんカフェ ひとしずく	048-441-6308
21	さぼり場	048-229-0889
22	中華旬菜酒家 ぼんぼん	048-442-1326